

第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン

(平成29年度～平成38年度)

平成29年2月

洞爺湖町教育委員会

あ い さ つ

「町づくり」は「人づくり」。「人づくり」は「教育」が基本です。

未来を担う子どもたちの成長は、生涯教育に支えられた地域社会が保障するものです。そのためには、幼児期における保育・教育、学校教育、社会教育、芸術・文化活動、スポーツ活動、すべての分野のバランスのとれた推進を図る必要があります。

人口減少、少子高齢化社会は、社会の急激な変化へのとまどいと、新たな課題も生み出しています。例えば、所得格差に伴う子どもの貧困と貧困の連鎖、情報通信社会が進展する一方で様々なリスクの増大、地域コミュニティの希薄化など。社会全体で解決していかなければなりません。

学校教育においても、小規模化を含め多くの課題があります。学力の定着はもちろん、生徒指導、いじめ・不登校、特別な支援の必要性の高まりなど、教職員の努力だけでは、すべてを解消し、高い教育効果を上げていくことは困難です。今、求められているのは地域の力です。学校、保護者、そして地域が共通認識と相互理解をもって学校運営していくことが重要です。

洞爺湖町は、大きくは本町地区、洞爺湖温泉地区、洞爺地区に分かれ、それぞれに地域特性がありますが、洞爺湖町という一つのまちの目で見ることによって、様々な可能性が広がります。自然豊かな地域環境、歴史、産業、どれも豊かな素材に恵まれています。これらの素材を、拾い出し、磨き上げ、輝かせていくことができる人材を育てることが大切です。ふるさとを誇りに思う「ふるさと教育」がそれを可能にします。

新町建設時に定めた平成28年度までの10年間の「第1次洞爺湖町教育目標と教育ビジョン」は、一定の実績と成果を上げることができました。その検証と反省を踏まえ、平成29年度からの10年間の「第2次洞爺湖町教育目標と教育ビジョン」を策定しました。本計画を本町教育の中心に据えて、各種教育を実践していきます。

本計画は、教育関係者、学校PTA、公募委員などからなる12名の策定委員会に案の策定を諮問し、5回にわたる熱心な協議を経て答申いただきました。その案をほぼ尊重したかたちで計画としています。また、平成29年度からの「第2次洞爺湖町まちづくり総合計画」等との整合性にも留意した計画ともなっています。

学校教育や社会教育に関する課題や期待などを把握するために住民アンケートを抽出調査により実施しました。結果については、策定作業の参考としたほか、今後の各種事業実施にも役立てていきますが、アンケートを通して多くのみなさんの教育に関する関心の高さと熱意を感じることができました。

策定委員の皆さま、アンケートに協力いただきました住民の皆さまに、心から感謝申し上げます。

平成29年2月

洞爺湖町教育委員会教育長 遠 藤 秀 男

目 次

1	はじめに	1
2	現状及び課題	2
3	第1次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの検証	5
4	第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの計画期間	5
5	計画の体系	6
6	基本理念	7
7	教育目標	8
8	基本目標及び基本方向	9

[資料]

第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの策定について（諮問）	24
第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの策定について（答申）	26
第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン策定の経過	27
アンケート調査結果の概要	28
第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン策定委員会設置要綱	86
第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン策定委員会委員名簿	88
部会の設置について	89

1 はじめに

洞爺湖町は、全国的に地方分権が推進されるなかで、平成18年3月に町村合併により誕生しました。

新町の第1期まちづくり総合計画（平成19年度～平成28年度）においては、「湖^う海^みと火山と緑の大地が結び合い元気をつくる交流の町」を将来像に掲げて、活力のある町づくりを進めてきました。

第1次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン(平成19年度～平成28年度)では、「①自然豊かな大地で、自立心にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む」「②心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む」を基本理念として人づくりを中心に据えて教育実践に努めてきました。

当町の人口は、合併時の11,343人（平成17年度国勢調査）から毎年減少し、直近では9,299人（平成27年度国勢調査速報値）と2,044人がこの10年で減少しています。

自然増減でみると、一貫して死亡数が出生数を上回っています。特に合計特殊出生率の推移を周辺市町村と比較しても、当町のみが減少しており、少子化が深刻な課題となっています。社会増減では、転出超過の傾向が続いています。都市部への転出超過が多くなっており、特に若年層の人口減少が目立ち、進学や就職先として都市部を求める傾向が強くなっています。

また、当町の高齢化率（65歳以上の高齢者の割合）は合併時の30.4%から平成22年度には35.2%、平成27年度では40.4%と40%を上回り、町民の2.5人に1人が高齢者となっています。人口ビジョン（平成26年10月洞爺湖町まち・ひと・しごと総合戦略とともに策定）によると、現在は年少人口の減少が加速化するとともに、老年人口が維持から微減へと転じる時期に入っていることから、今後の老年人口は減少傾向に転ずると考えられています。その後、少子化や若年層の人口減少により、高齢化率はさらに上昇し、生活基盤や都市機能への影響などが危惧されます。

人口減少をはじめ少子高齢化の進行、国際化、情報化等の進展など、変化の激しい社会情勢のなかで、当町の未来を担う子どもたちが心豊かにたくましく成長し、すべての町民が健やかで充実した生活を送ることができるよう、生涯学習の推進に向けて、中長期的な展望に立った指針として、第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンを策定します。

2 現状及び課題

(1) 子育て支援に係る現状と課題

少子高齢化の急速な進行とともに、核家族や夫婦の共働きが増加し、子どもや子育て世帯を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。また家庭の経済状況などにより、子育て環境に格差が生じ、社会問題ともなっています。これらを踏まえ、子育て支援については、国においても大きな政策課題となり、平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が制定されました。

当町においても、平成27年3月に策定した「洞爺湖町子ども・子育て支援事業計画」の着実な取り組みが求められており、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもがのびのびと成長し、安心して子育てができる環境の充実を図ることが求められています。

夫婦共働き世帯やひとり親世帯が増える中、幼稚園・保育所・子育て支援センターや放課後児童健全育成事業が果たす役割も大きくなり、施設や機能の充実を図ることも必要となっています。現在、当町には待機児童はいませんが、老朽化した施設があることから、安全性の確保を図るため改築を行う必要がある一方で、入所児童の減少が続き、入所定員を割り込んでいる状況にあることなどを踏まえ、保育所の適正配置についての検討が必要となっています。

また、保護者をはじめとするすべての人々が、子どもの健やかな成長を実現するという目的を共有し、子どもの成育や子育て支援の重要性に対する関心と理解を深め、それぞれの立場で支え合い、見守りあえる体制づくりや新たな視点として、教育格差問題についても更なる支援が課題となっています。

当町の未来を担う子どもの健やかな育成のため、家庭や地域社会、福祉・保健・教育などの関係機関が連携し、多様な子育て支援サービスの充実を図る必要があります。

(2) 学校教育及び学習環境に係る現状と課題

国際化・情報化等の進展など、変化の激しい社会情勢の中で、地域の未来を担う子どもたちの「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」の調和的な発達により、「生きる力」を育てる教育が求められています。特に、学校教育においては、確かな学力の定着と生活習慣の改善が課題となっています。

当町の特性や地域の人材等を生かした特色ある教育・開かれた学校づく

り、環境問題や国際化、ICT化等の課題への対応を求められているとともに、家庭の教育力の向上にも努めなければなりません。また特別支援教育の充実、いじめ・不登校対策、道德教育、防災教育、体力・健康づくり、食育などにも、より積極的に取り組む必要があります。

安全で快適な学校教育環境は教育の基盤であります。施設の老朽化等に伴う耐震化工事は、平成27年度末をもって町内小中学校すべて完了しています。今後においては、老朽化した学校施設などの改修が求められており、教職員住宅についても、あり方を含めた検討が必要となっています。また、学校給食体制のあり方なども検討する必要があります。

児童生徒数の減少などにより平成28年3月末をもって洞爺湖温泉中学校が閉校しましたが、今後の児童生徒数の状況を見据えながら小中学校の適正配置について検討をする必要があります。

高等学校教育については、入学者の減や施設の老朽化などにより平成28年3月末をもって洞爺高等学校が閉校し、平成28年4月から道立高等学校1校となりましたが、地域における高等学校教育の確保を図るため、引き続き支援する必要があります。

(3) 生涯学習に係る現状と課題

少子高齢化社会の進行や高度情報化社会など、社会情勢は日々大きく変化を続けています。価値観の変化や多様化などに伴い、町民一人ひとりの学習要求もますます多様・高度化してきています。これらの課題に適切に対応して誰もが生涯にわたって心豊かに学び続けることができるよう、生涯学習の観点に立ち、町の教育資源を活用しながら、家庭・学校・地域社会がより一層の連携・融合して学習や文化・スポーツ活動を推進していくことが必要です。

また、豊かな人間性の育成など時代を超えても変わらない大切なものをしっかりと次世代に継承していくとともに、時代の新しい課題を適切に受け止め、柔軟に対応してゆとりと潤いのある生涯学習社会の実現を図ることが求められています。

今後は生涯学習の中心となる社会教育施設の利用促進や地域ボランティアの人材登録、指導者の育成、学習情報提供体制の整備充実などにより、生涯学習の基盤整備や各世代のニーズに即した特色ある学習プログラムの整備を促進する必要があります。

さらに携帯機器など情報端末機の普及に伴い、活字離れや本への興味が希薄化する中、町民の学習意欲と教養向上を図るために、読書活動の普及

と図書の充実が不可欠です。

(4) 芸術、文化及び文化遺産に係る現状と課題

心の豊かさや生きがい、あるいは生活の潤いなどが重視され、芸術文化への関心が高まってきており、当町においても、地域に根ざした文化の継承、各種芸術・文化団体やサークルの育成や発表機会の充実などが求められています。このことから芸術・文化活動の活性化を今後も促進していくとともに、芸術の発信拠点となる洞爺湖芸術館や湖畔の彫刻群など地域ならではの特性を生かした作品鑑賞の機会や、幅広い年齢層へ対応した芸術鑑賞の提供等を含めた取り組みが必要です。

縄文遺跡の整備・活用においては、高砂貝塚の整備促進を図り、自然とのふれあいと、当時のたたずまいを体感できる空間づくりに取り組むとともに、拠点施設となる貝塚館を含めた周辺環境整備に努める必要があります。あわせて、入江貝塚とともに「北海道・北東北の縄文遺跡群」としてユネスコ世界遺産登録の実現のため、関係機関や他市町等と連携強化が必要です。

また、当町には道指定の有形文化財入江馬頭観世音碑や入江貝塚出土の骨角器、町指定の曙・香川・月浦地区に伝わる獅子舞など指定文化財が多く、こうした貴重な文化財を保護するために、アイヌ文化を含む地域の歴史や文化の正しい理解と関係資料の保存や伝承などに努め、虻田・洞爺両地区の郷土資料の収蔵展示においてもまちの発展に使われた資料に親しむ機会の提供が求められます。

(5) スポーツ活動に係る現状と課題

スポーツを取り巻く環境は、少子高齢社会の進展に伴い、スポーツの振興にあたっては各年齢層に応じ、また、体力などを考慮しながらそれぞれの年代に合ったスポーツ振興が求められており、近年は競技スポーツに加え、余暇や健康、コミュニティに重きを置いたニュースポーツが志向されるように、スポーツニーズの質的变化と多様化が進んでいます。

スポーツは、実践により心身の健全な育成や健康保持・増進に欠くことのできないものでもあり、生涯にわたって健康で明るく豊かで生きがいのある生活を営むために、気軽に誰もが楽しめる環境づくりが必要です。

今後は、地域の自然や特性を生かしたスポーツや野外活動の振興を図り、各種団体やサークルなどの活動支援、指導者の育成や確保、参加機会の促進に努めることが必要です。

3 第1次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの検証

第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンを策定するにあたり、第1次の計画（計画期間：平成19年度～平成28年度）期間の各種事務事業の実績を検証しました。

検証は、第1期洞爺湖町まちづくり総合計画と第1次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンを対比しながら、項目ごとに実績（主な事業等）の内容の確認と主管課の自己評価を加え、第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン策定委員会において検証をしていただきました。

計画期間中には、合併前の旧町村の互いの良いところを引継ぎ、事業が進められました。

保育事業関連では、旧洞爺村では実施されていなかった0歳児保育などの実施、学校教育関連では、芸術文化フェスティバルによる児童生徒の交流、また、社会教育関連では、旧虻田町では実施されていなかった児童生徒のスキー教室、あるいは旧町村から引き継いだ姉妹都市や友好都市との児童生徒の交流などの取組がなされてきました。

その一方で、生徒数の減少等により平成28年3月末に洞爺湖温泉中学校と洞爺高等学校が同時に閉校となった事実は、合併当初は誰一人として想像もしていなかったことであり、第1次計画期間中の最も残念な記憶として残ることとなりました。

このような中であって計画に定められている各項目の1つひとつについて検証をいただき、実施されていないものはなく、全ての事業等において概ね良好な取組であったとの検証結果でありました。

しかしながら、教育目標の達成は道半ばであり、教育格差の問題などの新たな視点を含めて、課題解決への更なる努力が必要であることも確認されています。

4 第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの計画期間

第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの策定にあたり、第1次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの検証結果と、学校教育や社会教育に関する課題や期待などを把握するために実施した町民アンケート調査結果をはじめ、当町の各種計画との整合性を視野にいて策定しました。

計画期間は平成29年度から平成38年度までの10ヵ年とします。

また、計画期間の中間となる5年後を目途に、社会情勢やその他の諸事情を踏まえ、弾力的に見直しを行います。

5 計画の体系

第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン（計画期間：平成29年度～平成38年度）

【教育理念】

- 自然豊かな大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む
- 心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む

【教育目標】

- 確かな学力、健やかな身体、豊かな人間性を育み、自立した生き方を支える教育の推進
- 家庭・地域の教育力を育み、地域特性を生かし、社会全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進
- 社会教育・芸術文化・スポーツを通し、協働的で潤いのある地域づくりのための生涯学習の推進
- 教育全体を支える自然、歴史、文化、産業等の地域特性を生かしたふるさと教育の推進

基本目標

基本方向

基本目標1
子育てをしやすい環境整備の推進

基本方向1
子育て支援対策の推進

視点1 子育て支援の充実

基本目標2
社会で生きる実践的な力の育成

基本方向1
生きる知恵につながる確かな学力を育む、自立した生き方を支える教育の推進

基本方向2
社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進

視点1 確かな学力の向上をめざす教育の推進
視点2 コミュニケーション能力を育む教育の推進
視点3 特別支援教育の推進

視点1 グローバル化への対応と地域間交流の推進（伝統や文化を大切にする教育、国際理解教育の充実及び地域間交流の推進）
視点2 防災教育、情報教育の充実
視点3 環境教育の推進
視点4 高等学校教育の確保

基本目標3
豊かな心と健やかな身体の育成

基本方向1
豊かな人間性と感性を育む教育の推進

基本方向2
心身の健やかな成長を促す教育の推進

視点1 豊かな心を育む教育（道徳教育）の推進
視点2 読書活動の推進
視点3 体験的な活動の充実
視点4 生徒指導・教育相談の推進

視点1 体力・運動能力の向上
視点2 食育・健康教育の推進
視点3 福祉教育・ボランティア活動の推進
視点4 安全教育の推進
視点5 学校関連施設・設備の整備

基本目標4
信頼される学校づくりの推進

基本方向1
魅力ある学校づくりの推進

視点1 開かれた学校づくり
視点2 特色ある学校づくり
視点3 幼保・小・中・高の連携
視点4 教職員の資質・能力の向上等
視点5 学校力の向上

基本目標5
地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進

基本方向1
家庭教育力の向上への支援の充実

基本方向2
地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進

視点1 家庭教育力の向上

視点1 地域の教育力の向上
視点2 子どもたちの安全を確保する体制づくり

基本目標6
生涯学習社会の推進

基本方向1・視点1
学んだ成果を生かす生涯学習の推進

基本方向2・視点1
潤いのある地域づくりをめざした社会教育の推進

基本方向3・視点1
文化・芸術活動の推進

基本方向4・視点1
健康づくり・スポーツ活動の推進

6 基本理念

基本理念については、教育に対する根本的な考えであり、教育の継続性、安定性を図る上からも、第1次計画からそのまま引き継ぎ第2次計画においても同様とします。

(1) 基本理念の考え方

《今後、重視すべき観点》

洞爺湖町の教育においては、「これまで以上に、保護者や地域の期待にこたえ、社会で自立して生き生きと活躍できる力を育むこと、そして、一人ひとりが互いに支え合いながら生きていることを自覚し、よりよい社会を築いていこうとする意欲を育むこと」が大切であるという、「自立」と「共生」の2つの考え方を基本理念の柱とします。

(2) 基本理念

「自立」と「共生」を柱とする2つの基本理念は、それぞれ独立したものではなく、一体として捉えた上で、総合的に教育を行っていくことが大切です。

この視点に立って、洞爺湖町の未来を担う子どもたちが夢と希望にあふれ健やかに成長し、すべての町民が生き生きと充実した生活を送ることができるよう、これからの洞爺湖町がめざす教育の方向性を基本理念として次のとおり定めます。

基 本 理 念

- 自然豊かな大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む

社会の変化に対応し、自ら学び自ら考える力を身に付け、自立の精神にあふれ、進んで社会を担おうとする主体性と責任感を持った人を育みます。

そして、夢や希望を持ち、社会で生きる実践的な力を身に付け、洞爺湖町はもとより国内外で活躍する意欲と創造力にあふれ、自らの目標に向かって挑戦する人を育みます。

■ 心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む

規範意識などの倫理観、人間尊重の精神や思いやりの心を持って、感性豊かに、相互に支え合って生きていこうとする人を育みます。

そして、どこに住んでいても、ふるさとに対する愛着と誇りを持って生活し、他者や自然との共生を図り、文化の継承・創造、スポーツへの取組などに積極的に参加・貢献し、健康的に生き生きと生活する人を育みます。

7 教育目標

第1次計画では、「教育理念」も「教育目標」も「人」に焦点を当てて定めていました。

第2次計画では、「教育理念」は変更しないことから、従前どおり「人」に焦点を当てたものでの定めとしています。

一方、教育目標は、第2次計画の10年間の目標と捉えています。

第1次計画では「人」に焦点を当てた目標としていますが、第2次計画では、第1次計画の4本の目標を整理し、「主体の明確化」を図ったものとして決めました。(第1次計画と全く別の目標建てをしたものではありません。)

《子どもたちの目標》

■ 確かな学力、健やかな身体、豊かな人間性を育み、自立した生き方を支える教育の推進

確かな学力、健やかな身体、豊かな人間性・・・生きる力

《子どもたちを支える行政・学校・地域・家庭の目標》

■ 家庭・地域の教育力を育み、地域特性を生かし、社会全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進

学習機会を保障するための地域・家庭の教育力の充実・・・町長部局との連携及び開かれた学校づくり

《地域づくりを支える生涯学習の目標》

- 社会教育・芸術文化・スポーツを通し、協働的で潤いのある地域づくりのための生涯学習の推進

様々な学びを通した主体的な社会参画を促す生涯教育の環境整備

《教育全体を支える地域教育の目標》

- 教育全体を支える自然、歴史、文化、産業等の地域特性を生かしたふるさと教育の推進

幼児教育、学校教育、社会教育に地域特性の視点を取り入れたふらさと教育体制整備

8 基本目標及び基本方向

教育目標を実現するために6つの「基本目標」と、それぞれに「基本方向」を設定しました。

＜基本目標＞1

■ 子育てをしやすい環境整備の推進

急速な少子化、核家族化の進行、共働き家族の増加などから、子どもや子育て家庭を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。

また家庭の経済状況などにより、子育て環境に格差が生じ、社会問題ともなっています。これらを踏まえ、子育て支援については、国においても大きな政策課題となり、平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が制定されました。

当町においても、平成27年3月に策定した「洞爺湖町子ども・子育て支援事業計画」の着実な取組が求められており、子どもがのびのびと成長し、安心して子育てができる環境整備の推進に努めます。

基本方向1 子育て支援対策の推進

視点1 子育て支援の充実

- 安心して子育てができる環境整備のため、保育所運営事業、子育て支援センターの運営事業さらには放課後児童健全育成事業の推進を図るとともに、子ども・子育て支援法に基づく私立幼稚園等への支援や子どもの将来が、その生まれ育った環境に左右されることのないよう、子どもの貧困対策など、子育て支援の充実に努めます。

【主な取組】

- ◇子育て支援センターを中核とし、関係機関等と連携をとりながら、子どもと親に対する子育て支援事業の推進を図ります。
- ◇子育て支援ネットワークづくりやスクールカウンセリングなどの環境整備に努めます。
- ◇子どもや親が安心して利用でき、子育て支援となる保育の推進を図ります。
- ◇老朽化した保育所施設の改築を推進するとともに、保育所の適正配置について検討を進めます。
- ◇子ども・子育て支援法に基づき、私立幼稚園等への支援を推進します。
- ◇就労等で留守になる家庭の育成支援として実施する学童保育において保護者が安心して子育てと仕事を両立できる環境づくりと支援の充実に努めます。
- ◇就学援助制度の適正な運用により、義務教育の円滑な実施に努めます。
- ◇洞爺湖町育英資金の基金による貸付や給付により、就学の支援に努めます。

<基本目標> 2

■ 社会で生きる実践的な力の育成

教育の役割は、子どもたち一人ひとりが将来においてその可能性を開花させ、自らの人生を幸福に過ごすことができるための基礎力を身に付けさせることです。

これからの子どもたちが個性や能力を生かし、自立した人間として生きていくために必要な知恵につながる確かな学力と思いやりの心などの豊かな心、生涯を通じて健康に過ごすことができる健やかな身体を、バランスよく育むことが何よりまず必要なことです。

このことを踏まえ、基本目標2においては、学ぶ意欲の向上と学習習慣の定着を通じた確かな学力の育成に努めるとともに、豊かな人間関係づくりの基礎となるコミュニケーション能力などを育成することによって、自立した生き方を支える基本的な資質・能力を十分に身に付けさせ、その上で、社会

の変化に対応し、新しい時代を生きていくための実践的な力を育成します。
そのため、次の2つの基本方向をめざします。

基本方向1	生きる知恵につながる確かな学力を育む、自立した生き方を支える教育の推進
-------	-------------------------------------

視点1 確かな学力の向上をめざす教育の推進

- 子どもたちの学ぶ意欲の向上とともに、望ましい学習習慣を定着させ、自立した生き方を支える基礎的・基本的な資質・能力を育成するため、児童生徒の能動的な学習として主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現の授業手法とともに、授業における ICT 活用の取組も求められる時代の趨勢を踏まえ、ICT の活用授業に関する調査研究を進めるなど、学び自ら考え行動する力などの確かな学力の向上に努めます。

【主な取組】

- ◇教育改善推進事業による学力向上の取組を進めます。
- ◇洞爺湖町独自の学力検査の実施に努めます。
- ◇学習支援員の配置に努めます。
- ◇ICT（コンピュータやインターネットなどの情報通信技術）のタブレットなどの活用授業に係る調査研究を進めます。

視点2 コミュニケーション能力を育む教育の推進

- 他者や社会との豊かな関係を築くためのコミュニケーション能力を育成するため、すべての教科等の基盤となる国語に関する能力の向上を図り、相手の考えや意見を正しく理解するとともに、自らの考えや意見を適切に伝えることができる能力の育成に努めます。

【主な取組】

- ◇各教科等の言語活動の充実を図るための学習指導の工夫・改善や児童生徒たちによる話し合いや発表の機会の充実に努めます。
- ◇読書活動の推進に努めます。

視点3 特別支援教育の推進

- 小・中学校等におけるLD（学習障がい）等を含む障がいのある子どもたちを支援するため、早期の実態把握の実施やシステムづくりを進めるな

ど、学校・家庭・地域・関係機関等が相互に連携を深めながら、障がいのある子どもたちの教育的ニーズに応え、一人ひとりを大切にする特別支援教育の推進に努めます。

【主な取組】

- ◇発達障がいのある子どもたちを支援するシステムづくりなどの特別支援教育の推進を図ります。
- ◇特別支援教育支援員や介護員の配置に努めます。

基本方向 2	社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進
--------	-------------------------------

視点 1 グローバル化への対応と地域間交流の推進（伝統や文化を大切にする教育、国際理解教育の充実及び地域間交流の推進）

- 国際社会においては相互理解が大切です。そのため、まず、わが国・北海道及び洞爺湖町の歴史や伝統、文化について理解を深める教育を通じて、ふるさとに対する愛着や誇りをもって、国際社会の一員として生きていこうとする自覚の涵養に努めます。その上で、国際社会において主体的に行動できる資質・能力の育成をめざす国際理解教育の充実に努めるとともに、外国語によるコミュニケーション能力の育成に努めます。また、友好の絆で結ばれ交流が続く、姉妹都市の神奈川県箱根町や友好都市の香川県三豊市との交流の推進に努めます。

【主な取組】

- ◇外国語授業の充実や国際理解教育推進のため外国語指導助手（ALT）の配置に努めます。
- ◇英国ボランティア青年との国際交流活動により、国際理解の推進に努めます。
- ◇姉妹都市及び友好都市との交流の推進に努めます。

視点 2 防災教育、情報教育の充実

- 積雪寒冷な土地で有珠山噴火災害なども起こりうる洞爺湖町の自然環境にも配慮しつつ、火山災害やその他の自然災害に対する興味・関心を高める避難所開設体験学習会の開催など、防災教育の充実に努めます。また、情報化の進展などによる情報通信ネットワークの高度化に対応する情報活

動能力や携帯電話・スマートフォンなどの普及に伴いSNS（ソーシャルネットワークサービス）などによる目に見えないところでの陰湿ないじめの発生などが後を絶たないことから、情報モラルの育成に努めます。

【主な取組】

- ◇中学2年生を対象とした避難所開設体験学習会の実施をはじめ、有珠山噴火や地震、津波災害等の理解を深める学習の推進に努めます。
- ◇パソコンの配置による情報活動能力や情報モラルの育成に努めます。

視点3 環境教育の推進

- 地球環境問題が国際的な課題となる中、洞爺湖町における先人の自然との共生に関する優れた考え方などを踏まえ、洞爺湖町の豊かな自然を守る気持ちを育むなど、環境問題について自ら考え、環境に配慮した行動ができる取組を進めます。特に洞爺湖町は、日本初の「ユネスコ世界ジオパーク」認定地であることから、洞爺湖有珠山ジオパークと連携し、洞爺湖町の特性を十分に生かした環境教育の推進に努めます。

【主な取組】

- ◇洞爺湖有珠山ジオパークの中心的地域にある洞爺湖町の特性を生かした環境教育に努めます。

視点4 高等学校教育の確保

- 入学者の減や施設の老朽化などにより平成28年3月末をもって洞爺高等学校が閉校し、平成28年4月から道立高等学校1校となりましたが、地域における高等学校教育の確保を図るための支援に努めます。

【主な取組】

- ◇人材育成と地域活性化を担う拠点として、道立高等学校の支援に努めます。

<基本目標> 3

■ 豊かな心と健やかな身体の育成

規範意識や基本的な倫理観、思いやりの心や豊かな感性など、豊かな心を育成します。そして、生涯を通じて、健康に過ごすことができるように、望ましい生涯学習の確立や体力・運動能力の向上を図るなど、健やかな心身を

育成します。

そのため、次の2つの基本方向をめざします。

基本方向 1	豊かな人間性と感性を育む教育の推進
--------	-------------------

視点 1 豊かな心を育む教育（道徳教育）の推進

- 幼児期から、発達段階に応じて、基本的な規範意識や公正な判断能力、自らを律しつつ粘り強くたくましく生きる力、かけがえのない自他の生命を尊重する心など、基本的な倫理観を身に付けさせるとともに、自分の生き方を支え、精神的な拠りどころとなる、人間尊重の精神や生命への畏敬、思いやりの心や美しいものに感動する心など、豊かな心の育成に努めます。

【主な取組】

- ◇規範意識や生命の大切さ、思いやりの心を育むなどの道徳教育の推進に努めます。

視点 2 読書活動の推進

- 読書活動は、言語に関する能力を育み、人間形成や情操を養うなど、健やかな成長に不可欠なものです。平成27年度に「洞爺湖町子ども読書活動推進計画（第2次）」を策定しており、本計画に基づく自主的に読書活動に取り組む環境づくりの推進に努めます。

【主な取組】

- ◇洞爺湖町子ども読書活動推進計画（第2次）に基づく、読書活動の推進に努めます。
- ◇授業開始前の「朝読」や家庭での「家読」など、読書活動の推進に努めます。

視点 3 体験的な活動の充実

- 洞爺湖町が有する様々な教育資源を生かした自然体験活動、社会体験活動、文化芸術体験活動、文化財活用体験活動などの充実に努めます。また、社会の一員としての自覚を深め、学習や生活の基盤づくりを進めるため、コミュニケーション能力向上のための機会の充実に努めます。

【主な取組】

- ◇洞爺湖有珠山ジオパークなど、洞爺湖町が有する様々な教育資源を生かした体験的な活動に努めます。
- ◇体験的な活動を通してコミュニケーション能力向上のための機会の充実に努めます。

視点4 生徒指導・教育相談の充実

- 学校生活がすべての子どもにとって有意義で充実したものになるよう、家庭や関係機関などとの連携を通じて、いじめなどの問題行動や不登校等の未然防止・早期対応のため、生徒指導・教育相談の充実に努めます。

【主な取組】

- ◇Q-Uテスト（学校生活意欲や学級満足度など学級集団の状態を調査するものです。）などの活用により、いじめなどの未然防止、早期発見、早期対応に努めます。
- ◇スクールカウンセラーなどの配置により、生徒指導、教育相談の充実に努めます。

基本方向2	心身の健やかな成長を促す教育の推進
-------	-------------------

視点1 体力・運動能力の向上

- 洞爺湖町における全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小学5年生、中学2年生対象）では、比較的良好な状態にあります。今後においても学校と家庭、地域社会が連携を深めながら、運動する機会を増やすなど、体力・運動能力の向上に努めます。

【主な取組】

- ◇運動習慣の定着や生活習慣の改善を図るため、運動に親しむ機会の確保など、体力・運動能力の向上に努めます。

視点2 食育・健康教育の推進

- 学校・家庭・地域社会が連携し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣の育成や、学校給食における地場産物の活用を通じて、地域の食文化や自然の恵みへの理解を深め、ふるさとを愛する心を育む取組を進めます。

また、日常生活において健康に関する活動の実践を促すとともに、生涯を通じて健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、学校と家庭及び地域社会が相互に連携を深めながら健康教育の推進に努めます。

【主な取組】

- ◇学校給食を通じた食育の推進に努めます。
- ◇がん、生活習慣病や薬物などの健康問題についての正しい知識を身に付けさせるなどの健康教育の推進に努めます。
- ◇フッ化物洗口の実施により虫歯予防の推進に努めます。

視点3 福祉教育・ボランティア活動の推進

- すべての人、一人ひとりの人格を尊重し、思いやりの心を持って助け合うとともに、福祉の実践意欲を向上させる態度を身に付けることができるボランティア活動の推進に努めます。

【主な取組】

- ◇道徳教育における思いやりの心を育むことや総合学習におけるボランティア活動などを通じた福祉教育の推進に努めます。

視点4 安全教育の推進

- 事件・事故や災害などから子どもたちを守る取組を進めるとともに、子どもたちが自らを守ることができるよう、学校・家庭・地域社会が連携した安全教育の充実に努めます。

【主な取組】

- ◇交通安全教室、防犯教室や防災に係る避難訓練の実施など、学校・家庭・地域社会が連携した安全教育の充実に努めます。

視点5 学校関連施設・設備の整備

- 学校施設は児童生徒の学習・生活の場であるとともに、災害非常時には避難場所となるなど、地域にとって重要な施設であることから、安全を確保するための耐震化工事を進め、平成27年度末をもって町内小中学校すべて完了しました。

今後においては、老朽化した学校施設などの改修が求められており、教

職員住宅についても、あり方を含めた検討が必要となっています。また、学校給食体制のあり方なども検討する必要があることから、老朽化した学校関連施設・設備の改修に努めます。

【主な取組】

◇学校施設の長寿命化計画を策定し、この計画に基づき改修を図るなど、学校関連施設・設備の整備に努めます。

◇小中学校の適正配置については、各種状況を見据えながら検討します。

<基本目標> 4

■ 信頼される学校づくりの推進

子どもたちや地域の実情を踏まえ、学校においては、家庭・地域社会と連携を図りつつ、保護者や地域住民が学校運営に参画することなどによる地域とともにある学校づくり、地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、地域の自然環境や人材などの教育資源を生かした特色ある学校づくりを進めながら、家庭や地域社会に信頼される学校づくりを推進します。そして教員については、子どもと正面から向き合い、子どもたち一人ひとりの成長に寄与できるよう、その資質・能力の向上を図ります。

そのため、次の基本方向をめざします。

基本方向 1 魅力ある学校づくりの推進

視点 1 開かれた学校づくり

○ 自己評価や外部評価など学校評価を適切に実施・公表することや、学校の教育活動その他の学校運営の状況について保護者等に対して積極的に情報提供すること。また、学校評議員制度や地域と学校が連携・協働して地域全体で未来を担う児童生徒の成長を支える方策としてのコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設置などを通して、開かれた学校づくりの推進に努めます。

【主な取組】

◇学校評価を適切に行い、保護者や地域に信頼される学校づくりに努めます。

◇地域と学校が連携・協働して地域全体で未来を担う児童生徒の成長を支える方策としてコミュニティ・スクール（学校運営協議会）設置を推進しま

す。

視点2 特色ある学校づくり

- 地域の自然環境や人材などの教育資源を生かしながら、特色ある多様な教育活動を展開し、子どもたちが意欲的に学校生活に取り組むことができるような、特色ある学校づくりの推進に努めます。

【主な取組】

- ◇洞爺湖有珠山ジオパークなど、洞爺湖町が有する様々な教育資源を生かした学校づくりの推進に努めます。

視点3 幼保・小・中・高の連携

- 幼児・児童・生徒の発達段階を踏まえた教育活動の連続性など学校種間の連携などに配慮し、教育課程や指導方法の工夫・改善などを通じて、学校運営の充実に努めます。

【主な取組】

- ◇幼稚園・保育所・各学校間の授業参観やイベント参加などの交流や連携の充実に努めます。
- ◇小中乗り入れ授業の実施などによる一貫教育の研究を進めます。

視点4 教職員の資質・能力の向上等

- 児童生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場である学校は、児童生徒の教育に直接携わる教職員の人間性や指導力によるところが大きく、子どもの心身の発達や人格形成に大きな影響を及ぼします。

このことから、教職員が子どもたちに対して深い愛情と使命感を持ち、豊かな人間性や社会性、さらに高い指導力を身に付けるなど、学校の活性化を図り、教職員の協働意識の高揚や保護者や地域住民の信頼関係を確保するため、教職員の法令等の遵守や服務規律の徹底に努めます。また、学校に求められるものも多様化し、教職員の業務量が増加していることから、健康保持などの面からも時間外勤務縮減の取組に努めます。

【主な取組】

- ◇専門研修への参加などにより社会性や指導力の向上に努めます。

◇職場研修会をはじめ様々な機会を通して、法令遵守や服務規律の徹底に努めます。

◇時間外勤務の縮減に努めます。

視点5 学校力の向上

- さまざまな教育的課題に対応するため、教職員の資質・能力の向上に加え、学校がこれまで以上に組織的に取り組む必要があることから、学校力の向上を支援する体制の整備に努めます。

【主な取組】

◇教育指導専門員の配置に努めます。

<基本目標> 5

■ 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進

核家族化、地縁的なつながりの希薄化などに伴う家庭や地域社会の教育力の低下を踏まえ、家庭と地域の結びつきを深め、地域全体で子どもを守り育てる機運を醸成し、家庭や地域の教育力の向上を図ります。

そのため、次の2つの基本方向をめざします。

基本方向1 家庭教育力の向上への支援の充実

視点1 家庭の教育力の向上

- 家庭は、子どもの教育に第一義的な責任を有するものであることから、家庭において、子どもが基本的な生活習慣などを身に付けたり、働くことの意義や必要性への理解などを通じて自立心を育み、心身の調和のとれた発達が図られるよう、家庭教育に関する情報提供の取組を進めるなど、家庭の教育力の向上に努めます。

また、若い世代が将来家庭を築き、子どもを生み育てることの意義や喜びなどについて理解を深めることができる取組の推進に努めます。

【主な取組】

◇家庭教育に関する情報提供などを図り、家庭の教育力の向上に努めます。

基本方向2 地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進

視点1 地域の教育力の向上

- 地域住民への多様な情報・学習機会の提供や住民の地域活動への参画・協働の仕組みづくりを進めるとともに、地域全体で子どもたちを守り育てていこうとする意識を高め、子どもたちが異世代間の交流や社会体験活動、文化やスポーツなどの体験活動に主体的に取り組むことができるような活動拠点づくりを通して、大人と子どもの結びつきを強める地域の教育力の再生・向上に努めます。

【主な取組】

- ◇ 青少年期において、地域づくりを担う指導者やリーダーなど地域活動に必要な人材の育成に努めます。
- ◇ 学校支援ボランティアなど地域人材を活用して小中学生の学習支援や社会教育事業への参画などの促進に努めます。
- ◇ 放課後の学習機会の提供を進め、地域未来塾による学習習慣と基礎学力向上に取り組めます。
- ◇ とうや湖ゲンキッズといきいき学園の合同開催など異世代間との交流を進め、社会との関わりやコミュニケーション能力の向上を図ります。
- ◇ 親子のふれあう時間の大切さを推進するため、家庭での余暇の過ごし方に関する情報等を提供し、家庭や地域社会の教育力向上に向けた啓発活動に努めます。
- ◇ 子ども会やスポーツ少年団の育成を支援し、心身の健全な育成や健康の保持、増進に努めます。

視点2 子どもたちの安全を確保する体制づくり

- 地域住民やボランティア団体等の協力を得ながら、地域における安全・防犯のネットワークづくりを推進するなど、家庭、学校、地域社会が一体となって、子どもたちの安全と安心を確保し、社会全体で子どもたちを守り育てることができる、効果的で継続的な体制づくりの推進に努めます。

【主な取組】

- ◇ 学校と家庭・地域及び関係機関が相互に連携して、地域全体で子どもたちを守り育てる安全・安心の体制づくりに努め、安全確保に向けた意識の高揚と普及・啓発活動を推進します。

<基本目標> 6

■ 生涯学習社会の推進

生涯のいつでも、どこでも、自由に学習機会を選択して豊かに学び、文化に親しみ、スポーツを楽しみ、かつ、学んだ成果を生かすことのできる洞爺湖町らしい生涯学習社会の実現に向けた環境づくりに努め、社会教育や文化・スポーツ活動の充実を図ります。

そのため、次の4つの基本方向をめざします。

基本方向 1	学んだ成果を生かす生涯学習の推進
--------	------------------

視 点 1

- 北海道、関係機関、団体との連携・協力により、住民の要望に応えるさまざまな学習機会の提供や、学習成果を適切に評価し、地域活動などに積極的に活用することができる環境づくりに努めます。また、洞爺湖町の特性に対応した学習環境の充実と豊富な学習資源の有効活用に努めます。

【主な取組】

- ◇ 町民の学習ニーズを把握し、幅広い連携と協力の下で町民カレッジ事業の充実を図ります。
- ◇ 自主的な学習活動の促進を図るとともに、地域の活動リーダーの養成に努めます。
- ◇ 町民の主体的な学びと活動を促進し、図書施設や郷土資料館などの社会教育施設の整備の充実と学習環境の充実に努めます。
- ◇ 学習成果を地域活動やボランティア活動に生かし、ICT（コンピュータやインターネットなどの情報通信技術）等を活用した事業の充実や発信に努めます。
- ◇ 四季の野外観察会など自然の大切さを学ぶ機会づくりに努めます。

基本方向 2	潤いのある地域づくりをめざした社会教育の推進
--------	------------------------

視 点 1

- 心の豊かさをもたらす潤いのある地域づくりをめざし、学校、家庭、地域住民及び関係団体などが相互に連携・協力して多様化・高度化する学習ニ

ーズや社会の要請にこたえとともに、家庭や地域社会を取り巻く様々な課題に対処していくため、洞爺湖町の特色や地域の特性を生かした社会教育活動の推進に努めます。

【主な取組】

- ◇子ども読書活動推進計画を推進し、より多くの人々が本に親しめるよう、読書活動を促進します。
- ◇社会教育施設において、サークルなどの活動情報や仲間づくりに関する情報など地域住民が必要としている情報を広く収集し、提供に努めます。
- ◇ジオパークと連携を図り、縄文文化とともに変動する大地と人間の共生の歴史を知る機会づくりに努めます。
- ◇高齢者の経験や豊富な知識を生かした活動の場の提供に努めます。
- ◇きずな学級(男女共同参画啓発事業)は身近で関心の高いテーマを選定し、参加者の増に繋がります。
- ◇いきいき学園（高齢者活動推進事業）参加者のニーズに応え、楽しい学習や体験活動に努めます。

基本方向 3	文化・芸術活動の推進
--------	------------

視 点 1

- ゆとりや潤いなど心の豊かさにつながる、文化・芸術に親しむことのできる環境づくりを進めるため、町民の自主的な文化活動への参加や芸術鑑賞などの文化に触れる機会を充実するなど、文化・芸術活動の推進に努めるとともに、地域の文化財の保存と活用にも努めます。

【主な取組】

- ◇音楽や演劇公演など優れた芸術文化に接する機会を提供し、実行委員会体制の強化と町民のニーズの把握に努めます。
- ◇地域の文化団体の取組に対する支援を通じて、個人またはサークルの芸術文化活動の参加促進を図ります。
- ◇国指定史跡の縄文遺跡群を未来に引き継ぎ、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界文化遺産への登録に向けて4道県（北海道、青森県、秋田県、岩手県）と連携した取組を推進します。
- ◇洞爺湖畔に設置されている彫刻群を自らの手で清掃する取組を継続させ、

- 優れた芸術に触れ、学び、大切に作る心を育む機会の提供に努めます。
- ◇地域の歴史を学ぶ機会の充実に努め、町内の有形、無形文化財の調査及び保存、活用を図ります。
 - ◇町民ロビーを個人や団体の創作活動の発表の場として有効活用を図ります。
 - ◇郷土資料の定期的な展示替えで地域の歴史や文化を学ぶ機会を推進します。
 - ◇高齢者サロン利用者が郷土資料の解説などを通して、子どもたちと交流する機会づくりに努めます。

基本方向 4	健康づくり・スポーツ活動の推進
--------	-----------------

視 点 1

- 生涯の各時期や個人に応じた健康づくりの推進に努めるとともに、生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、スポーツ指導者やスポーツ少年団の育成など多様なスポーツの振興に努めます。

【主な取組】

- ◇スポーツを通して体力向上や生活習慣病の予防など心身の健康増進を図り、体を動かす習慣や意欲を高める教室の機会充実に努めます。
- ◇親子でスポーツに親しむ種目を取り入れ、機会の提供と普及に努めます。
- ◇スポーツ少年団などの運営を支援し、活動の促進を図ります。
- ◇総合型地域スポーツクラブの支援と活動の普及啓発に努めます。
- ◇高齢者の方々がスポーツに親しめる機会や情報の提供、高齢者運動会などへの協力を推進します。
- ◇スポーツ関係団体との連携、協力を図り、スポーツに関する情報の収集や発信に努めます。
- ◇地域のスポーツを担うスポーツ推進委員等指導者の育成に努め、町民のニーズに応じた事業に取り組みます。
- ◇体育施設や学校施設の開放など既存の公共施設の有効活用や安全確保を図るとともに、町全体の施設の在り方や整備等の検討に努めます。
- ◇スポーツを通じた交流に繋がるようスポーツ団体や他市町などと連携し、交流事業や各種大会などの交流促進に努めます。
- ◇プロスポーツ選手等とのスポーツ教室や講話等の機会づくりに努めます。
- ◇町民のニーズを把握し、新しい競技種目の導入に努めます。

第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン策定資料

洞教管第 6 5 5 号
平成 2 8 年 8 月 3 日

第 2 次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン
策定委員会委員長 登 坂 恭 之 様

洞爺湖町教育委員会教育長 遠 藤 秀 男

第 2 次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの策定について（諮問）
このことについて、洞爺湖町の将来的展望にたった第 2 次洞爺湖町の教育
目標と教育ビジョンの策定について、別紙諮問文により第 2 次洞爺湖町の
教育目標と教育ビジョン策定委員会に諮問しますので、ご検討、ご審議の
うえ答申くださいますよう、よろしくお願いします。

記

- 1 答申期日 平成 2 8 年 1 2 月
- 2 計画期間 平成 2 9 年度より平成 3 8 年度（1 0 ヶ年）

諮問文

第1次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンは、平成19年度を初年度として10年の計画期間として策定され、町民の多様な要望に応えるべく様々な教育活動の推進に努めてまいりましたが、平成28年度をもって最終年度を迎えることとなりました。

人口減少、少子高齢化、国際化・情報化等の進展など、変化の激しい社会情勢のなかで、洞爺湖町の未来を担う子ども達が心豊かにたくましく成長し、すべての町民が健やかで充実した生活を送ることができるよう、生涯学習の推進に向けこれからの洞爺湖町の教育の方向性などを示す「第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン（案）」の策定について諮問いたします。

なお、本町の諸計画との整合性なども視野に入れて策定くださるよう希望いたします。

平成29年2月13日

洞爺湖町教育委員会
教育長 遠 藤 秀 男 様

第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン
策定委員会委員長 登 坂 恭 之

第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの策定について（答申）

平成28年8月3日付け洞教管第655号で諮問を受けました第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン（計画期間：平成29年度～平成38年度）の策定につきましては、慎重に審議を重ねた結果、別紙のとおり答申いたします。

第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン策定の経過

(1) 第1回策定委員会（平成28年8月3日）

【議題等】

- ① 第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン策定委員会設置要綱について
- ② 委員長、副委員長の選出について
- ③ 第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの策定について（諮問）
- ④ 今後のスケジュールについて
- ⑤ アンケート調査の実施について

(2) 第2回策定委員会（平成28年10月6日）

【議題等】

- ① 部会の設置について
- ② 第1次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン実績及び検証について

(3) 第3回策定委員会（平成28年10月20日）

【議題等】

- ① 第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン策定に関するアンケート集計結果について（報告）
- ② 第1次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン実績及び検証について（まとめ）
- ③ 第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの検討について（教育目標・教育理念）

(4) 第4回策定委員会（平成28年11月30日）

【議題等】

- ① 第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの検討について（教育目標）
- ② 第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの検討について（基本目標個別検討）

(5) 第5回策定委員会（平成28年12月5日）

【議題等】

- ① 第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの検討について（教育目標検討）

(6) パブリックコメント

計画素案のパブリックコメントを実施（町の広報やホームページ等により周知のうえ意見募集（平成29年1月11日～平成29年2月10日）

アンケート調査結果の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン（計画期間：平成29年度～平成38年度）を策定するため、学校教育や社会教育に関する課題や期待などについて把握し、多くの皆様（町民、保護者、教職員、社会教育団体）からの意見を計画策定にいかすことを目的に実施するものです。

2 調査方法

(1) 洞爺湖町全域

(2) 調査対象者 757名

ア 住民基本台帳に登録されている18歳以下の子どもをもつ世帯・保護者 608名

イ 小中学校の教職員 77名

ウ とうやこ幼稚園職員 8名

エ 社会教育団体等の役員 64名

(3) 調査方法

郵送配布、郵送回収

(4) 調査期間

平成28年8月5日（金）～8月19日（金）

3 回収結果

	配布数	回収数	回収率（％）
18歳以下の子を持つ世帯、幼稚園職員、社会教育団体関係者アンケート	680	197	29.0％
小中学校教職員アンケート	77	70	90.9％

4 結果の概要について

結果の概要を、質問ごとにそれぞれ掲載します。各質問で割合を示す数値につ

いては、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100にはなりません。また、質問によっては複数回答の場合もあることなどから、それらの合計値は100にはなりません。

質問にその他の記載があった場合は、それらも記述しています。

Ⅱ 18歳以下の子を持つ世帯、幼稚園職員、社会教育団体関係者アンケート調査結果の概要

1 家族の状況について

問1 この調査票に回答いただく方の性別、年齢を教えてください。

性別については、「男性」の割合が41.1%、「女性」の割合が55.3%となっています。また、年齢については、「40歳代」の割合が41.1%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が23.4%、「50歳代」の割合が16.2%となっています。

(単位：%)

	区 分	割 合
性 別	男 性	41.1%
	女 性	55.3%
年 齢	30歳未満	6.6%
	30歳代	23.4%
	40歳代	41.1%
	50歳代	16.2%
	60歳代	4.1%
	70歳以上	7.1%

問2 世帯の人数と構成を教えてください。

(単位：人、%)

	区 分	人	割 合
世帯の人数	平均値	3.64	—
	最小値	1	—
	最大値	8	—
世帯の構成	本人（回答者）	—	98.5%
	配偶者	—	80.2%
	就学前	—	31.0%
	小学生	—	38.1%
	中学生	—	27.4%
	高校生以上	—	30.5%
	祖父	—	3.6%
	祖母	—	8.1%

	その他親族	—	4. 1 %
	その他	—	2. 5 %

問3 あなたのお住まいはどちらですか。

(単位：%)

区 分	割 合
虻田本町地区	64. 5 %
洞爺湖温泉・月浦・花和地区	14. 2 %
洞爺地区	20. 3 %

2 子どもの教育や学習に関する取組について

問4 洞爺湖町の子どもの教育について、あなたが関心のあることは何ですか。[主なもの3つまで○]

子どもの教育について関心のあることについては、「学力の向上」の割合が50. 8 %と最も高く、次いで「健康や体力」の割合が36. 5 %、「基本的生活習慣」の割合が35. 5 %となっています。

(単位：%)

区 分	割 合
1. 学力の向上	50. 8 %
2. 健康や体力	36. 5 %
3. 基本的生活習慣	35. 5 %
4. 道徳心や規範意識	33. 0 %
5. いじめ・不登校の問題	25. 4 %
6. 学校の施設・設備	8. 1 %
7. 教職員の指導力や専門性	24. 4 %
8. 家庭でのしつけ・教育	18. 3 %
9. 家庭でのコミュニケーション	12. 2 %
10. 地域での子育て・教育	9. 6 %
11. 学校・家庭・地域の連携	26. 4 %
12. その他	1. 0 %

(その他記載)

- ・町主導型の塾。町独自の奨学金制度
- ・子どもの自己受容力を高めるような大人を増やすこと

問5 教育を通じて洞爺湖町の子どもたちには、次のような能力や態度が実際に身に付いていると思いますか。〔①～⑩の各項目について、あてはまるのに、それぞれひとつだけ○〕

洞爺湖町の子どもたちに身につけている能力や態度について、「身につけている」と「だいたい身につけている」をあわせた“身につけている”割合が、④思いやりの心や善悪の判断などの道徳心 56.9%と最も高く、次いで⑥いじめ・暴力行為を許さない心 52.3%、⑤社会生活に必要な常識やマナーと⑧偏見や差別を許さず、互いに認め合い、共に生きる姿勢が 47.2%となっています。

(単位：％)

項 目	1 身 に つ い て い る	2 だ て い い た る い 身 に つ い	3 あ い ま な り い 身 に つ い て	4 身 に つ い て い な い	5 わ か ら な い
①自ら学び、考え、主体的に行動する力	4.6	38.6	29.9	3.6	20.8
②表現やコミュニケーション力	4.1	41.6	29.9	4.1	18.3
③教科の基礎的な学力	1.5	40.6	25.4	7.6	22.3
④思いやりの心や善悪の判断などの道徳心	11.7	45.2	21.3	3.6	16.8
⑤社会生活に必要な常識やマナー	8.6	38.6	27.9	4.6	17.8
⑥いじめ・暴力行為を許さない心	12.7	39.6	19.8	3.6	21.8
⑦生き方や進路について考える力	3.6	23.4	34.0	10.2	26.4
⑧偏見や差別を許さず、互いに認め合い、共に生きる姿勢	8.1	39.1	22.3	2.5	25.4
⑨“ふるさと洞爺湖町”を誇りに思う心、愛する心	5.6	25.4	27.4	11.7	27.9
⑩地域の人や行事に積極的に関わろうとする姿勢	7.6	26.9	33.5	8.1	22.3

⑪体力を向上させ、健康的に生きようとする姿勢	6.1	39.6	23.4	5.1	23.9
⑫緊急事態において、子どもが自ら守り安全を確保することができる力	3.0	32.5	22.3	9.1	31.0

問6 洞爺湖町の学校教育において、次のような取組について、できていると思いますか。

[①～⑮の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけ○]

洞爺湖町の学校教育の取組でできていることについては、「できている」と「だいたいできている」をあわせた“できている”の割合が、⑨学校給食を活用した食育を行っている52.8%と最も高く、次いで⑫交通事故や犯罪等から身を守る交通安全教育や防犯教育を行っている50.8%、②少人数指導、習熟度別指導など、多様な形態での学習を工夫している50.2%となっています。

(単位：%)

項 目	1 でき て い る	2 だ て い い た る い で き	3 あい ま な り い で き て	4 で き て い な い	5 わ か ら な い
①わかりやすい授業を行っている	7.6	42.1	12.2	1.5	33.0
②少人数指導、習熟度別指導など、多様な形態での学習を工夫している	9.6	40.6	14.2	2.0	30.5
③コンピュータや実物投影機などの ICT※機器を活用している	5.1	33.0	14.2	4.6	40.1
④規範意識や道徳性を育む教育を行っている	4.6	40.6	13.7	3.6	34.0
⑤命と人権を大切にする教育を行っている	5.6	42.1	13.7	3.0	33.0
⑥「いじめ」「暴力行為」をなくす取組を行っている	6.1	36.0	18.3	3.0	32.0
⑦不登校児童生徒へのケアや支援を行っている	4.1	22.8	21.3	6.1	40.6
⑧体力向上を目指した取組を行っている	4.1	36.0	22.3	3.6	27.9

⑨学校給食を活用した食育を行っている	16.8	36.0	16.8	3.6	21.8
⑩子どもの障がいの状態や教育的ニーズに応じた指導を行っている	10.7	38.1	10.7	5.6	29.9
⑪有珠山の特性や津波、地震災害など、地域の状況にあった防災教育を行っている	9.6	40.1	17.8	2.5	24.9
⑫交通事故や犯罪等から身を守る交通安全教育や防犯教育を行っている	10.2	40.6	17.3	2.5	24.4
⑬保育所や幼稚園とのつながりを深める取組を行っている	8.1	25.4	23.9	6.1	31.0
⑭高校とのつながりを深める取組を行っている	4.6	14.7	25.9	8.6	40.6
⑮学校図書室を活用した教育活動を行っている	5.6	26.4	23.4	4.1	35.5
⑯学ぶ意欲を高め、学習習慣を定着させるための取組を行っている	9.1	28.9	20.3	7.1	28.9
⑰学校の教育活動や取組内容を保護者や地域に発信している	12.7	36.5	16.8	2.0	25.9
⑱地域の指導者等（地域人材）を活用した授業を行っている	9.1	25.9	21.8	5.6	32.0
⑲地域の豊富な学習資源（自然、文化財、芸術文化など）を活用している	9.1	39.6	16.2	5.1	24.4

※ICT：Information and Communication Technology の略で、情報通信技術のこと。

問7 あなたは小・中学校に対してどのようなことを望みますか。〔主なもの3つまで○〕

小・中学校に対しての要望については、「教育に対する責任感や子供に対する愛情を持って接すること」の割合が54.3%と最も高く、次いで「子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること」の割合が41.6%、「教職員がわかりやすい授業を工夫すること」の割合が36.5%となっています。

(単位：％)

項 目	割 合
1. 教育に対する責任感や子供に対する愛情を持って接すること	54.3
2. 教職員がわかりやすい授業を工夫すること	36.5
3. 生活習慣や社会規範の手本となり、指導すること	28.4
4. 子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること	41.6
5. 子どもや保護者の相談に快く応じてくれること	23.9
6. 担当教科に関して専門的な知識を持っていること	8.1
7. 子どもに公平に接すること	36.0
8. 社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること	21.8
9. 部活動や体育等の基礎的な体力づくりを熱心に指導すること	12.7
10. その他	2.5
11. 特にない	3.0
12. わからない	0.5

(その他記載)

- ・前小学校校長教頭については、よくないうわさ（実際にみた）を聞いています。そんな
トップを入れないこと
- ・スクールバス、携帯の使用
- ・家庭学習や宿題を減らした方がいいのでは（2件）
- ・一方的なやり取りではなく、子どもに様々なことを考えさせ、生きる意義を持たせる、
人を大切にすること
- ・失敗を怖がらない子たちに育ててほしい

問8 あなたは、いじめや不登校などの問題を防止するためにはどのようなことが必要だと思いますか。[主なもの3つまで○]

いじめや不登校などの問題を防止するために必要なことについては、「保護者が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること」の割合が68.5%と最も高く、次いで「教職員が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること」の割合が53.3%、「地域で子どもたちを見守り、注意するなど、地域の教育力を高めること」の割合が37.1%となっています。

(単位：％)

1. 保護者が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること	68.5
2. 保護者がいじめ等の問題行動に対して指導すること	19.8
3. 地域で子どもたちを見守り、注意するなど、地域の教育力を高めること	37.1
4. 教職員が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること	53.3
5. 教職員がいじめ等の問題行動に対して指導すること	29.9
6. 学校や家庭において情報モラル教育※の充実を図ること	9.1
7. 学校において人権教育や道徳教育の充実を図ること	8.6
8. 専門の相談員（スクール・カウンセラー※）に、いつでも悩みを相談で	13.7

きること	
9. 町や教育委員会がいじめ防止の啓発活動などに積極的に取り組むこと	5.6
10. 学校や家庭、地域が連携を強化すること	20.8
11. 学校と警察等の関係機関との連携を強化すること	1.0
12. その他	3.0
13. 特にない	0.5
14. わからない	0.5

※情報モラル教育：よりよいコミュニケーションや人間関係づくりに向けて、インターネットやスマートフォンなど情報手段を上手にかしこく使っていくための判断力や心構えを身に付けさせる教育。

※スクール・カウンセラー：不登校などの対策として、小・中学校に配置し、児童生徒や保護者、教職員へのカウンセリングを行う専門家。

(その他記載)

- ・あつてはならないのではなく、あるものとして考えていかねばならない
- ・学校が隠すことをやめる。閉鎖的な集団等の教員
- ・クラス全員の前でいじめた方を名指しし、いじめられた方と話をする。難しいと思うが、陰湿な子が多いので。もしくは、両親（両保護者）と子と全員で話をする。子と教師だけではだめと思う
- ・よくならない
- ・スクールカウンセラーより、スクールソーシャルワーカーのほうが機能すると思います。ぜひ設置を。それと教師、親などその子に近い大人がしっかり話し合える信頼関係を築けるかが重要だと思います
- ・事案発生時カメラの設置、少年法・傷害被害届の教育

問9 あなたは、洞爺湖町の就学前教育※の充実のためにどのような取組が必要だと思いますか。[主なもの3つまで○]

洞爺湖町の就学前教育の充実のために必要な取組については、「あいさつやルールを守る意識を育てる」の割合が58.4%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣を身に付ける」の割合が53.8%、「自然とふれあう体験をする」の割合が32.5%となっています。

(単位：%)

1. 基本的な生活習慣を身に付ける	53.8
2. あいさつやルールを守る意識を育てる	58.4
3. 自然とふれあう体験をする	32.5
4. 世代間交流など、いろいろな人とふれあう体験をする	28.9
5. 教職員の資質の向上	14.2
6. 保育所での子育て支援の強化（一時預かり保育や保育所開放※など）	13.2
7. 保育所保育に教育的な機能を持たせること	11.7
8. 保育所と小学校とのつながりを深める	13.2

とができる教育の場と機会の確保」の割合が 51.8%、「子どもたちの実態に応じた相談体制の充実」の割合が 39.6%となっています。

(単位：%)

1. すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の場と機会の確保	51.8
2. 乳幼児期の支援体制の整備	24.9
3. 子どもたちの実態に応じた相談体制の充実	39.6
4. 特別支援学級等での専門的な教育の充実	35.0
5. 学校環境のユニバーサルデザイン※化	12.7
6. 障がいに対する理解を深めるための学習の充実	52.8
7. その他	3.0
8. 特になし	3.6
9. わからない	9.6

※特別支援教育：障がいのある子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。

※ユニバーサルデザイン：年齢や障がいの有無にかかわらず、できるだけ多くの人が利用することができるようなデザイン。

(その他記載)

- ・教職員の研修の充実
- ・一人一人に向き合う丁寧なケア
- ・教員の支援対象児童に対する態度、意識の改善
- ・教職員の資質の向上

問 1 2 少子化に伴い、保育所や小中学校の子ども数が減少してきており、今後においても同様に減少が見込まれ、保育所や小中学校の小規模化が予想されます。保育所や小中学校の小規模化について、あなたはどのように思いますか。[1つに○]

保育所や小中学校の小規模化については、「メリットが多いと思う」と「どちらかといえばメリットが多いと思う」をあわせた“メリットが多いと思う”の割合は 40.6%、

「どちらかといえばデメリットが多いと思う」と「デメリットが多いと思う」をあわせ“デメリットが多いと思う”の割合は 40.1%となっており、拮抗した数値となっています。

(単位：%)

1. メリットが多いと思う	7.6
2. どちらかといえばメリットが多いと思う	33.0
3. どちらかといえばデメリットが多いと思う	30.5
4. デメリットが多いと思う	9.6
5. わからない	18.3

問 1 2-1 問 1 2で「1. メリットが多いと思う」「2. どちらかといえばメリットが多いと思う」を回答した方のみお答えください。その理由は何ですか。[主なもの3つまで○]

保育所や小中学校の小規模化のメリットが多いと思う理由については、「先生の目が届きやすく、きめ細やかな指導（個別指導）がしやすくなる」の割合が73.8%と最も多く、次いで「異学年の子どもとの関わりが密になる」の割合が47.5%、「同学年の子ども同士がよく知り合うことができ、人間関係が密になる」の割合が43.8%となっています。

（単位：％）

1. 同学年の子ども同士がよく知り合うことができ、人間関係が密になる	43.8
2. 異学年の子どもとの関わりが密になる	47.5
3. 運動会などの学校行事において、子ども一人一人の活躍の場が作りやすくなる	7.5
4. 先生の目が届きやすく、きめ細やかな指導（個別指導）がしやすくなる	73.8
5. 全員で団結や協力がしやすくなる	32.5
6. 個々の活動の場が増え、責任感が育つ	37.5
7. ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気の中で学ぶことができる	12.5
8. その他	2.5
9. 特にない	1.3
10. わからない	1.3

（その他記載）

- ・刺激が少なくなるので落ち着いて生活できると思う。学習への集中、トラブル
- ・時代の流れに沿うことは必然で、逆らうと無理がくると思うから

問12-2 問12で「3. どちらかといえばデメリットが多いと思う」「4. デメリットが多いと思う」を回答した方のみお答えください。その理由は何ですか。[主なもの3つまで○]

保育所や小中学校の小規模化のデメリットが多いと思う理由については、「切磋琢磨する機会が少なくなる」の割合が48.1%が最も多く、次いで「子どもが多様な個性と触れ合う機会が少なくなる」の46.8%、「コミュニケーション能力が育ちにくくなる」の割合が44.3%となっています。

（単位：％）

1. 切磋琢磨する機会が少なくなる	48.1
2. 子どもが多様な個性と触れ合う機会が少なくなる	46.8
3. 集団活動・行事に支障がでる	40.5
4. 多様な考えに触れる機会が少なくなる	32.9
5. コミュニケーション能力が育ちにくくなる	44.3
6. 部活動などの数や部員が少なくなり、運営に支障がでる	40.5
7. PTA 活動等において、保護者への負担が大きくなる	19.0
8. その他（具体的に）	6.3
9. 特にない	1.3
10. わからない	1.3

(その他記載)

- ・生徒数減少に伴い教員数も減少。結果的に目が届かなくなるのではないかとと思われる(質の低下)
- ・いじめ等問題が起きても、人数が少ないと当該生徒と接触する機会が多くなり精神的負担になる
- ・子どもの考える力が育たない。いじめがふえるのではないか?
- ・経営的に維持が難しくなる。永続的でない

問 1 3 次の教育施策や教育事業について、あなたは、今後、洞爺湖町で力を入れて行う必要があると思いますか。[①～⑩の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとだけ○]

今後、洞爺湖町で力を入れて行う必要がある教育施策や教育事業について、「特に充実をしていくべき」と「充実をしていく方がよい」をあわせた“充実していくべき”の割合が、⑩いじめや暴力行為などの解消を図る取組 78.2%と最も高く、次いで④不登校児童生徒へのケアや支援 75.7%、④英語(外国語)教育 74.6%となっています。

(単位: %)

項 目	1 特に 充実 する べき	2 充 分 に な る か ら い い	3 現 状 で よ い	4 あ ま り な い か ら い い	5 充 分 に な ら な い
①発達や学びの連続性を踏まえた幼児保育・教育	13.2	54.3	27.9	1.5	0.5
②少人数指導、習熟度別学習など、多様な形態での学習	20.8	47.2	24.4	4.1	0.5
③生き方を考え、夢に挑戦する子どもを育むキャリア教育	18.8	45.2	31.0	1.5	0.5
④英語(外国語)教育	31.5	43.1	19.3	3.6	0.5
⑤読書活動の取組	22.3	40.6	33.0	1.0	0.5
⑥コンピュータなどの ICT 機器を活用した授業	25.9	41.6	25.9	3.0	1.0
⑦インターネットを適切に活用する能力等を育てる情報モラル教育	23.9	46.7	23.9	1.5	1.5
⑧豊かな心を育む道徳教育	32.5	38.1	25.4	1.0	1.5
⑨偏見や差別を許さず、互いの人権を尊重しあう態度を育てる人権教育	31.0	41.1	22.8	2.0	0.5
⑩“ふるさと洞爺湖町”を誇りに思う心、愛する心の	14.7	37.6	41.6	1.0	2.5

育成					
⑪子どもの体力向上の取組	27.9	44.2	23.4	0.5	1.5
⑫学校給食（食育を含む）	18.3	35.5	41.1	1.5	0.0
⑬障がいに関わらず子どもたちが共に学ぶことができる仕組みづくり	22.3	44.2	28.4	0.5	1.5
⑭不登校児童生徒へのケアや支援	24.4	51.3	20.3	0.5	1.0
⑮いじめや暴力行為などの解消を図る取組	31.0	47.2	16.8	0.0	0.0
⑯学校や保育所の活動や取組内容についての情報発信	11.2	38.1	45.7	1.0	0.0
⑰教職員の専門性や指導力の向上	27.9	46.2	21.3	0.5	0.0
⑱校舎や遊具等の施設面での環境整備	19.9	38.8	34.7	1.0	0.5
⑲子どもの通学路の安全確保に係る取組	24.9	33.5	35.0	0.5	0.0
⑳有珠山の特性や津波、地震災害など、地域の状況にあった防災教育	23.9	43.7	27.9	0.0	0.0
㉑交通事故や犯罪等から身を守る交通安全教育や防犯教育	27.4	40.1	26.9	1.0	0.0
㉒学校や保育所の適正規模や適正配置（※１）についての検討	15.7	40.1	38.1	1.0	0.5
㉓義務教育９年間を見通した小中一貫教育（※２）の検討	16.2	33.0	40.1	1.5	4.1
㉔放課後や土曜日などを活用した教育活動	12.7	33.5	44.2	2.0	2.5
㉕保育所と小学校との連携	13.2	34.5	45.2	2.5	0.5
㉖小学校と中学校との連携	18.8	43.1	33.5	0.5	0.0
㉗学校・家庭・地域が連携していくための取組	16.2	43.7	34.0	1.0	0.5
㉘家庭・地域の教育力向上を図るための講座等の開催	9.6	38.6	42.6	3.0	1.3
㉙地域の指導者等（地域人材）を活用した授業	12.7	41.6	38.6	2.0	0.5
㉚地域の豊富な学習資源（自然、文化財、芸術文化など）の活用	14.2	43.1	37.1	2.0	0.0

※１ 適正規模や適正配置：少子化が進む中、学校や保育所において、どの程度の規模や人数で教育や保育を行うことが望ましいのかを考えていくこと。

※２ 小中一貫教育：小学校と中学校の義務教育９年間を連続した期間ととらえ、児童生徒の発達段階に応じた一貫性のある学習指導・生活指導を行うとともに、小学校と中学校が協働して、系統的・継続的に教育活動を展開することについて考えていくこと。

問１４ あなたは、洞爺湖町の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。[主なもの３つまで○]

洞爺湖町の子どもたちに望む姿については、「思いやりやさしさをを持った子ども」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「ルールやマナーを守る子ども」の割合が 47.7%、「向上心やチャレンジ精神のある子ども」の割合が 32.0%となっています。

(単位：％)

1. ルールやマナーを守る子ども	47.7
2. 健康で活発な子ども	28.4
3. 自分の意見をはっきり言える子ども	29.4
4. 創造性が豊かな子ども	11.2
5. 思いやりやさしさをを持った子ども	58.9
6. 努力できる子ども	23.9
7. 責任感を持った子ども	22.3
8. 意欲的に学習する子ども	11.2
9. 向上心やチャレンジ精神のある子ども	32.0
10. 夢を持っている子ども	16.2
11. リーダーシップのある子ども	2.0
12. ふるさとを愛する子ども	5.6
13. その他	0.5
14. 特にない	0.5
15. わからない	0.5

(その他記載)

- ・人々のつながりを生み出しつつ、人に合わせすぎずに自分を大事にできる子

3 地域で子どもを育てていくことについて

問 15 あなたの周囲では、家庭の教育力、地域の教育力が変化してきていると思いますか。

[①、②の各項目について、あてはまるものに、それぞれ1つだけ○]

①家庭の教育力

洞爺湖町の「家庭の教育力」の状況については、「向上していると思う」と「ある程度向上していると思う」をあわせた“向上していると思う”の割合が 24.9%、“低下していると思う”の割合が 16.8%、“どちらとも言えない”の割合が 41.6%、となっています。

②地域の教育力

洞爺湖町の「地域の教育力」の状況については、「向上していると思う」と「ある程度向上していると思う」をあわせた“向上していると思う”の割合が 21.8%、“低下していると思う”の割合が 17.3%、“どちらとも言えない”の割合が 40.6%、となっています。

(単位：％)

	1 向と 上思 しう て い る	2 あ上思 るしう 程て 度い はる 向と	3 どえ ちな らい と も 言	4 低と 下思 しう て い る	5 わ か ら な い
①家庭の教育力	5.6	19.3	41.6	16.8	13.7
②地域の教育力	3.0	18.8	40.6	17.3	16.8

問16 あなたは、「家庭の教育力」を高めるために、どのような取組が必要だと思いますか。
[主なもの3つまで○]

「家庭の教育力」を高めるための必要な取組については、「家庭で一緒に食事を通して家族のつながりを深める」の割合が57.4%と最も高く、次いで「家族と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」の割合が56.9%、「子どもに対する教育の方法や心構えを学ぶ機会を設ける」の割合が29.9%となっています。

(単位：%)

1. 家庭で一緒に食事を通して家族のつながりを深める	57.4
2. 家族と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす	56.9
3. 子どもに対する教育の方法や心構えを学ぶ機会を設ける	29.9
4. 保護者同士が、子どものしつけや教育について話し合える機会をつくる	22.8
5. しつけや教育について相談できる場所をつくる	18.3
6. 保護者の労働時間を短くするなど、家族のふれあいのために職場が協力する	26.9
7. 行政や学校等が家庭教育の重要性についての啓発や広報を行う	14.7
8. その他	3.0
9. 特にない	2.0
10. わからない	2.5

(その他記載)

- ・親も一緒に勉強する(同じ時間に)
- ・親が考えるべき事
- ・塾に行かせてあげられない子供たちを行政主導で守ってあげてほしい
- ・学校以外でも学習出来る場が必要
- ・子どもがどんな心で生きているのかを、実際に関わっている子ども達を元に大人同士で話し合いながら、子どもときちんとつながりを持てる大人を増やしていく

問17 あなたは、「地域の教育力」を高めるために、地域の中でどのような取組が必要だと思いますか。[主なもの3つまで○]

「地域の教育力」を高めるための必要な取組については、「子どもたちが放課後や休日に学習や遊びができる機会をつくる」と「子どもたちが安全で安心して遊べるようにする」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「地域の大人が近所の子どもをほめたり、注意したりする」の割合が 32.0%、「家族同士や多世代の交流など、近所づきあいを深める」の割合が 31.5%となっています。

(単位：%)

1. 家族同士や多世代の交流など、近所づきあいを深める	31.5
2. 地域活動や行事などを盛んにする	27.9
3. 子どもたちが放課後や休日に学習や遊びができる機会をつくる	37.6
4. 子どもたちがスポーツ活動などができる機会をつくる	27.9
5. 子どもたちが安全で安心して遊べるようにする	37.6
6. 地域の伝統芸能や芸術文化などを子どもたちに伝えていく	21.3
7. 子どもたちと大人が触れ合う機会をつくる	19.3
8. 地域の大人が近所の子どもをほめたり、注意したりする	32.0
9. その他	1.5
10. 特にない	2.5
11. わからない	4.6

(その他記載)

- ・町のイベント等で大人は見られては恥ずかしい姿を見せる
- ・定年後の方々がボランティアとして子供の人生に生きるスキルを学べるミニ学習会等行っていくのはどうか。元気な高齢者でもよい。互いに良い時間が作れると思います
- ・地域で子どもたちを支える。という意識をみんなで持てるような会を開き、洞爺の大人として子ども達にどう育ってほしいかの目的を共有
- ・これまで通りでよい。地域活動や行事はオーバーフローぎみです。機会を増やすことより、利用する側の資質の問題なので。難しい問題ですね

4 社会教育について

ここからは、洞爺湖町の社会教育に関する質問です。

質問のなかで「学習」・「学ぶ」などとありますが、ここでいう学習や学ぶとは、「趣味を生かしたり、教養を高めたりする等」のこととご理解をいただいて、回答ください。

問18 あなたは自由時間（余暇）をどのように過ごしていますか。[主なもの5つまで○]

自由時間（余暇）の過ごし方については、「家族との団らん」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「買い物」の割合が 49.7%、「テレビ・ラジオ」の割合が 48.2%となっています。

(単位：%)

1. テレビ・ラジオ	48.2	10. 買い物	49.7
------------	------	---------	------

2. 新聞・雑誌を読む	22.3	1 1. グループ・サークル活動	6.1
3. 家族との団らん	62.9	1 2. 地域活動	7.1
4. 趣味・娯楽・習い事	31.0	1 3. ボランティア活動	5.1
5. スポーツ・体力づくり	18.8	1 4. 友人・知人・近所との交際	20.3
6. 読書・教養のための学習	13.2	1 5. 休養	28.9
7. 仕事や職業についての学習	7.6	1 6. 身の回りの整理	22.3
8. 資格、技術の取得	1.0	1 7. 仕事	6.6
9. 旅行・ドライブ	21.3	1 8. その他	3.0

(その他記載)

・インターネット(2件) ・平日にできなかった家事 ・町道の草刈り

問19 現在あなたは、「学習活動」を行って(参加して)いますか。[1つに○]

学習活動については、「行っていない」の割合が75.6%、「行っている」の割合が21.8%となっています。

(単位: %)

1. 行っている	21.8
2. 行っていない	75.6

問19-1については、問19で「1. 行っている」を回答した方のみお答えください。

問19-1 どのような方法で行っていますか。[主なもの2つまで○]

学習活動の方法については、「グループ・サークル活動を行っている」の割合が44.2%と最も高く、次いで「その他」の割合が25.6%、「テレビ・ラジオを利用している」と「図書室を利用している」の割合が18.6%となっています。

(単位: %)

1. テレビ・ラジオを利用している	18.6
2. 通信教育を受けている	2.3
3. 図書室を利用している	18.6
4. グループ・サークル活動を行っている	44.2
5. 教育委員会主催の講座・教室に参加	4.7
6. 施設を利用して個人的に学んでいる	14.0
7. その他	25.6

(その他記載)

・本、ネット、講座に参加 ・講座に参加。 ・インターネット、購入した本
 ・職場の学習会等へ参加している ・本を読む ・インターネットで学習している
 ・自主的にしています

問19-2については、問19で「2. 行っていない」を回答した方のみお答えください。

問19-2 行っていない理由を教えてください。[主なもの2つまで○]

学習活動を行っていない理由については、「時間がない（仕事が忙しい）から」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「希望する教室・講座がないから」の割合が 24.8%、「身近に学ぶ場所がないから」と「必要がないから」の割合が 16.8%となっています。

(単位：%)

1. 方法が分からないから	13.4	5. 何もしたくないから	4.7
2. 仲間がいないから	4.7	6. 必要がないから	16.8
3. 時間がない（仕事が忙しい）から	51.7	7. 希望する教室・講座がないから	24.8
4. 身近に学ぶ場所がないから	16.8	8. その他	1.3

(その他記載)

・子どもが小さいからまだ難しい

問20 あなたが学びたい、または、興味がある学習分野を教えてください。[主なもの3つまで○]

学びたい、あるいは興味がある学習分野については、「健康・スポーツ・レクリエーション・レジャー的趣味に関する学習」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「すぐに役に立つ技術的な内容（料理・パソコン・和洋裁など）に関する学習」の割合が 38.1%、「文化・芸術的趣味（園芸・舞踊・茶道・華道・盆栽・音楽・美術など）に関する学習」の割合が 34.0%となっています。

(単位：%)

1. 文化・芸術的趣味（園芸・舞踊・茶道・華道・盆栽・音楽・美術など）に関する学習	34.0
2. 健康・スポーツ・レクリエーション・レジャー的趣味に関する学習	41.6
3. 時事問題（高齢化・環境・政治・経済・国際問題など）に関する学習	9.6
4. 一般教養的内容【文学・歴史・語学など】に関する学習	14.7
5. 教育・育児・子育てに関する学習	18.3
6. すぐに役に立つ技術的な内容（料理・パソコン・和洋裁など）に関する学習	38.1
7. 職業上の知識や技能・資格取得に関する学習	25.4
8. 福祉・ボランティア活動に関する学習	13.2
9. その他	4.1

(その他記載)

・写真 ・健康に関する学習 ・何もしたくない ・現在、スポーツを少しやっている
・学びたくもないし、興味もない ・特になし

問21 あなたがこれからやってみたい芸術文化活動を教えてください。[主なもの3つまで○]

これからやってみたい芸術文化活動については、「陶芸」の割合が20.8%と最も高く、次いで「書道」の割合が17.3%、「手工芸」の割合が14.7%となっています。

(単位：%)

1. 絵画	12.2	1 1. 舞踊・ダンス	10.7
2. 手工芸	14.7	1 2. 民謡・歌謡	1.0
3. 木工芸	8.6	1 3. カラオケ	8.1
4. 陶芸	20.8	1 4. 楽器演奏	8.1
5. 書道	17.3	1 5. バンド演奏	7.1
6. 詩吟	0.0	1 6. 太鼓	5.1
7. 俳句	0.0	1 7. 盆栽（園芸）	6.1
8. 華道	6.1	1 8. 鑑賞活動	11.7
9. 茶道	5.1	1 9. その他	10.2
1 0. 囲碁・将棋	3.0		

(その他記載)

・写真 ・コーチング、ワイン ・料理 ・めぐり旅 ・空手 ・興味がない ・何もなし、外国語 ・なし（4件）

問22 あなたが洞爺湖町で観たいと思う「芸術文化鑑賞」の分野を教えてください。[主なもの3つまで○]

洞爺湖町で観たいと思う「芸術文化鑑賞」については、「ミュージカル」の割合が37.1%と最も高く、次いで「漫才」の割合が20.8%、「特になし」の割合が20.3%となっています。

(単位：%)

1. クラシック音楽	16.2	7. 歌舞伎	14.7
2. 音楽（ジャンルは）	14.2	8. 人形劇	5.6
3. 演劇	19.8	9. 民謡	0.0
4. ミュージカル	37.1	1 0. 特になし	20.3
5. 落語	13.7	1 1. その他	2.5
6. 漫才	20.8		

2の音楽（ジャンル）

・ポップス（2件） ・ジャズ（4件） ・Jポップ（2件） ・ボサノヴァ ・歌
・夏フェス ・アイドル ・絵画 ・バンド（ロック） ・歌謡曲
・吹奏楽、演歌、洋楽、フォークソング

(その他記載)

・大相撲地方巡業 ・プロの民謡と演奏 ・能

問23 あなたがこれからやってみたいスポーツを教えてください。[主なもの3つまで○]

これからやってみたいスポーツについては、「ヨガ」の割合が25.4%と最も高く、次い

で「カヌー」の割合が 16.8%、「ウォーキング」の割合が 15.2%となっています。

(単位：%)

1. 野球	7.6	13. スキー	7.1
2. バレーボール	10.2	14. スノーボード	5.1
3. ミニバレーボール	8.6	15. 歩くスキー	4.1
4. ゲートボール	0.5	16. サッカー	2.5
5. パークゴルフ	13.2	17. テニス	10.2
6. バドミントン	13.7	18. カヌー	16.8
7. 剣道	1.5	19. フロアーカーリング	4.1
8. 柔道	1.0	20. 太極拳	6.1
9. 卓球	10.7	21. ヨガ	25.4
10. 水泳	9.6	22. フットサル	3.6
11. ランニング	7.1	23. その他	10.7
12. ウォーキング	15.2		

(その他記載)

・バスケットボール ・乗馬 ・スキューバダイビング ・ヨット ・ゴルフ ・空手
 ・バレエ ・ダンス ・バブルサッカー ・サイクリング ・軽登山 ・町にはないので、
 すでに伊達でしているので必要ない ・特になし

問24 あなた(ご家族を含む。)は社会教育事業に参加したことがありますか。[1つに○]
 社会教育事業に参加については、「ない」の割合が 50.8%、「ある」の割合が 46.7%
 となっています。

(単位：%)

1. ある	46.7
2. ない	50.8

問24-1については、問24で「1. ある」を回答した方のみお答えください。

問24-1 あなた(ご家族を含む。)が参加された社会教育事業は何ですか。参加したことがあるものに参加した回数をご記入ください。また、参加された感想をお聞きます。[感想は、①～㉔の各事業に参加したことのある場合、あてはまるものに、それぞれひとつだけ○]

社会教育事業に参加した回数と感想については、「大変満足」と「満足」をあわせた“満足”の割合が、㉓とうや湖縄文まつり 27 件と最も多く、次いで③読み聞かせ会と⑬初心者水泳教室 22 件、⑦地域未来塾事業と⑭ちびっ子水泳教室 21 件となっています。

(単位：件)

事業名	1 大変満足	2 満足	3 ふつう	4 不満	5 大変不満
乳幼児事業					
①子育てセミナー	7	11	18	0	0
②ブックスタート事業	6	6	10	1	0
③読み聞かせ会	5	17	14	1	0
④図書室子どもまつり	0	9	6	0	0
青少年事業					
⑤洞爺湖町少年の主張大会	3	3	4	1	0
⑥とうや湖 GENKIDS	8	9	6	0	0
⑦地域未来塾事業	9	12	2	0	0
⑧読書感想画、読書感想文募集事業	2	1	4	0	0
成人事業					
⑨洞爺湖町成人式	5	7	12	0	1
⑩きずな学級講演会	1	1	4	0	0
高齢者事業					
⑪いきいき学園	1	3	2	0	0
スポーツ事業					
⑫レークスポーツ	6	10	6	0	1
⑬初心者水泳教室	9	13	4	0	0
⑭ちびっ子水泳教室	9	12	3	1	0
⑯歩くスキー体験会	1	4	3	0	0
⑰町民歩くスキーの集い	1	6	2	0	0
⑱出前スポーツ教室	4	4	4	0	0
芸術文化事業					
⑲野外彫刻清掃ボランティア	4	3	5	0	0
⑳美術見学会	1	4	5	0	0
㉑芸術鑑賞事業	5	6	4	0	0
文化財事業					

㉒こども合同体験イベント	2	4	4	0	0
㉓とうや湖縄文まつり	7	20	8	1	0
㉔文化財ウォークラリー	3	3	3	0	0
㉕縄文ロビー講座	2	2	3	0	0
㉖文化財防火デー	1	3	4	0	0

※㉕については、㉓と項目が同じだったため、㉓に集約しています。

問24-2については、問24で「2. ない」を回答した方のみお答えください。

問24-2 あなた（ご家族を含む。）が社会教育事業に参加しない（できない）理由は何ですか。[該当するものすべてに○]

社会教育事業に参加しない（できない）理由については、「仕事・育児などで忙しい（時間がない）」の割合が57.0%と最も高く、次いで「一人では参加しにくい」の割合が24.0%、「内容に興味が持てないから」の割合が19.0%となっています。

(単位：%)

1. 内容に興味が持てないから	19.0
2. 仕事・育児などで忙しい（時間がない）	57.0
3. 費用がかかる	9.0
4. 一人では参加しにくい	24.0
5. 会場までの交通手段がない	4.0
6. 参加する必要がある	8.0
7. その他	10.0

(その他記載)

- ・日時があわない
- ・行事をちゃんと把握していませんでした
- ・少年団活動で時間がとれない
- ・自分の趣味があり、時間がとれません
- ・時間が合わない
- ・中学生は部活で忙しく、参加できる時間をとれない
- ・高齢者として参加不可能、あるいは遠慮がち
- ・参加するきっかけがつかめない
- ・仕事の休みが合わない

問25 あなたがこれからの社会教育事業で、実施してほしい（参加してみたい）学習分野を教えてください。[主なもの3つまで○]

社会教育事業で、実施してほしい（参加してみたい）学習分野については、「健康・スポーツ・レクリエーション・レジャー的趣味に関する学習」の割合が38.1%と最も高く、次いで「すぐに役に立つ技術的な内容（料理・パソコン・和洋裁など）に関する学習」の割

合が 37.1%、「文化・芸術的趣味（園芸・舞踊・茶道・華道・盆栽・音楽・美術など）に関する学習」の割合が 31.5%となっています。

（単位：％）

1. 文化・芸術的趣味（園芸・舞踊・茶道・華道・盆栽・音楽・美術など）に関する学習	31.5
2. 健康・スポーツ・レクリエーション・レジャー的趣味に関する学習	38.1
3. 時事問題（高齢化・環境・政治・経済・国際問題など）に関する学習	6.6
4. 一般教養的内容【文学・歴史・語学など】に関する学習	13.2
5. 教育・育児・子育てに関する学習	17.3
6. すぐに役に立つ技術的な内容（料理・パソコン・和洋裁など）に関する学習	37.1
7. 職業上の知識や技能・資格取得に関する学習	18.3
8. 福祉・ボランティア活動に関する学習	12.7
9. その他	3.6

（その他記載）

- ・洞爺湖町について学ぶ内容 ・子どもが参加できる英語教室、ダンス教室など
- ・興味がない ・高齢のため面倒 ・なし（2件）

問 2 6 あなた（ご家族を含む。）が、この 1 年間に利用したことのある各施設の感想をお聞かせください。

この 1 年間に利用したことのある各施設の感想については、「大変満足」と「満足」をあわせた“満足”の割合が、⑪あぶた体育館と⑫洞爺湖町民プール 26 件と最も多く、次いで③洞爺総合センターと⑩洞爺湖芸術館 25 件、④あぶた読書の家 22 件となっています。

（単位：件）

施 設 名	1 大 変 満 足	2 満 足	3 ふ つ う	4 不 満	5 大 変 不 満
①虻田ふれ合いセンター	2	10	39	2	3
②母と子の館	3	14	44	2	0
③洞爺総合センター	4	21	28	2	0
④あぶた読書の家	4	18	27	9	2
⑤みずうみ読書の家	2	1	17	3	1
⑥虻田郷土資料館	3	4	14	2	2
⑦洞爺湖文化交流会館	1	2	16	3	1
⑧入江・高砂貝塚館	2	8	17	2	2

⑨洞爺湖文化センター	3	17	30	8	1
⑩洞爺湖芸術館	6	19	12	4	0
⑪あぶた体育館	6	20	28	4	2
⑫洞爺湖町民プール	5	21	26	8	0
⑬洞爺学校水泳プール	1	6	17	4	0
⑭虻田テニスコート	1	1	14	3	0
⑮洞爺テニスコート	1	2	12	1	1
⑯学校開放体育館	2	9	18	3	0
⑰その他	0	1	3	1	0

(その他(施設名)記載)

・ふれ愛センター ・洞爺中学校グラウンド

(そう感じた理由)

①虻田ふれ合いセンター

ステージが暗く音響もよくない

備品類が不備

乳児のおむつ替えや授乳スペースは冬は寒い

サークル 20～30 名、練習に便利

プレミアム商品券

古すぎる(設備等)

照明が暗い。ロビーの雰囲気によければなおよし

おもちゃがいろいろあるから。でも予約しなきゃいけないのが残念。もっと自由に利用したい。また土日の開放もしてほしい。伊達のカルチャーセンターのように

②母と子の館

せまい(中も駐車スペース)

子どもがもっと遊べる時間がほしい

もっとたくさんの人に利用してもらいたい

特別なものがあるわけではないけど利用できるから

子供が外で遊べない時などに利用しているので

特に問題ないが、満足レベル

③洞爺総合センター

料金が安い。和室のたたみが汚い

近いしきれいだから

ある程度の設備が整っている

もっと利用時間を延長できればもっと良い
近くて、調理室があり便利
ホールが少し狭かった
対応が素晴らしかった。設備もよい
特別なことはないので
対応がよかった
使用しやすい

④あぶた読書の家

子どもの絵本もたくさんあって楽しい
子どもが本好きなので2週間に1度選びに行くのを楽しみにしています
もっと本が充実しているとよい
タブレット使用がよい
雰囲気が暗い。注意書きが多すぎる
くつのぬぎはきスペースがわかりにくい。おむつ替え台がない
読みたい本が探しづらい。居心地がよくない
規模が小さいので書籍数が予想通り少ない感じ
ポケストップがある
カードになったから。3冊から5冊かりれるようになった
対応（接遇）が悪い
もう少し本があると良い
図書館とは言えない
図書館としての機能以外に、アイパッドや未来塾が開設され付加価値が増えた
新しい本が少ない
特に問題ないが、満足レベル
本の種類を多くしてほしい
本が少ない

⑤みずうみ読書の家

蔵書が少ない。利用しづらい雰囲気
静かでよいが、入りづらい？
規模が小さいので書籍数が予想通り少ない感じ
職員の対応がよくない
新しい本が少ない
住地域の違いで利用しない

⑥虻田郷土資料館

職員の対応がよかった

古い物がたくさんあっておもしろかったです
しょぼい
あまり興味がわからない

⑦洞爺湖文化交流会館

老朽化。利用しやすかった
トイレが古くて汚い

⑧入江・高砂貝塚館

それほど展示品がない
しょぼい
子供の自由研究に役立った
最近行ったことがない
全てが中途半端なつくり

⑨洞爺湖文化センター

設備が整っている
立派な施設
活用され方が足りない
良い施設なので、もっと活用してほしい
発表の場に使用させていただき感謝しています
古い
段差多い。老朽化が進んでいる
大きいばかりで古すぎる
夜の利用した時の出入りの照明が悪い
全体に設備が古くなってきている
小さい
古くなっているが大事に使っていると思う

⑩洞爺湖芸術館

工夫がされている
展示されている作品をみるのが楽しいです
よいと思います
興味がある時しか行かない
遠すぎる
エレベーターが狭い
町民は無料
異住地域

カフェなど利用価値が高いのにほうっておいている

⑪あぶた体育館

きれい＝2 トイレ等。床がきれい

もっと大きく施設投資してみては？

使用できる時間が少ない（一般）

体を動かしたいときにちょうど良いので

使いやすい。駐車場も広めでよい

公式スポーツを行う場合、広さや天井がせまい。ギャラリーも

⑫洞爺湖町民プール

水温調整ができればよい。値段も安いので十分楽しめる

大変古い建物。夏でも水が冷たい

放課後の友だちとの遊び場。体力もつく

大人 300 円は高く、子どもを連れて何度もいけない

町民でもお金がかかるのは…

つめたい

職員の態度が悪い

子供達が活用している

3 才の子供に腕に付ける浮き輪を使用していたら注意された。未就学児は使用してもいいのでは？

設備が古くなっている部分がある

子供が楽しく行っているので

年齢的に利用しない

使いやすい。駐車場も広めでよい

色んな深さのプールがある

更衣室が寒い

設備が古く感じる

⑬洞爺学校水泳プール

もう少し新しい設備にしてほしい

子どもたちには十分な設備があり、夜も利用できる

温水化すると利用者は絶対に増える

年齢的に利用しない

⑭虻田テニスコート

毒がの大量発生＝2

⑮洞爺テニスコート

使ってみたけど、どこに言えばよいかわからない

異住地域

水はけが悪い。フェンスの下に隙間がある

⑯学校開放体育館

積極的開放してほしい

カメ虫の大量発生

運動できる場があるのはうれしいことです

施設の老朽化がひどい

扉に網戸がほしい

⑰その他

町内に必要な事は、子ども達にもっと『夢をもってもらえるような施設を考えてみては？

⑥～⑨共通意見

母子、体育館など夜間使用時の照明、人数が少ないともったいないと思うのですが？半面ずつ違う分野の人と協同で使う？そんな工夫があってもよいのでは

全体的に接遇が悪いと思います。施設が古くても感じの良い対応ができれば満足度はあがるはず

遊具が充実していたので

学校教員が協力的ではない。地域に開放すべき

問 27 次の社会教育施策や社会教育事業について、あなたは、今後、洞爺湖町で力を入れて行う必要があると思いますか。[①～⑮各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけ○]

今後、洞爺湖町で力を入れて行う必要がある社会教育施策や社会教育事業について、「特に充実をしていくべき」と「充実をしていく方がよい」をあわせた“充実していくべき”の割合が、②少年教育の推進 126 件と最も多く、次いで⑭スポーツ施設の機能充実 125 件、⑮指導者及び団体の育成・支援 117 件となっています。

(単位:件)

項 目	1 特に 充実 をべ き	2 充 実 が よ い	3 現 状 で よ い	4 あ ま り 充 実 必 ず	5 充 実 が な い い い
①乳幼児教育の推進	39	72	66	1	1

②少年教育の推進	47	79	51	1	0
③青年・成人教育の推進	20	77	76	2	0
④高齢者教育の推進	20	67	83	5	4
⑤学校・家庭・地域との連携	31	84	65	1	0
⑥男女共同参画や女性の社会への参画	11	68	95	1	2
⑦国際交流事業の推進	21	78	76	2	2
⑧芸術・文化鑑賞の機会の提供と充実	10	79	86	2	0
⑨学習成果の場や機会の提供	15	71	89	3	0
⑩文化財の保存と活用	12	62	95	3	3
⑪生涯スポーツ・レク活動の推進	12	76	86	3	1
⑫読書活動の推進	16	74	83	2	1
⑬社会教育施設の機能充実	17	88	67	2	3
⑭スポーツ施設の機能充実	37	88	53	1	2
⑮指導者及び団体の育成・支援	42	75	59	2	1

問 28 洞爺湖町教育に関して、望まれることや具体的なご提案、ご意見がございましたら、ご記入ください。

全国で出はじめている「森のようちえん」のような、幼少期から自然と共に成長できるような保育所があると嬉しい。子育てに関心がある世帯であれば移住も考えるのではないのでしょうか。豊かな森や湖・海がせつかくあるのだから活用して行ってほしいです。海外へのホームステイなども気軽にできるようになれば良いと思います。大きくなってからの非行や心の病気を防ぐには小さい頃からの安定した作りが大事だと思います。家庭と教育機関との連携や健康的な心身の作り方等の配布物があると嬉しいです

小中高は勉強が楽しいと思わせるような指導が必要ではないのでしょうか。また、乳児のファーストブックと一緒に親向けの本も一緒に配布するのも良いのではないのでしょうか

子供が少なくなってきた、色々と大変な面があるかと思いますが、教育委員会、教職員、保護者の連携がとれるようにお願いします

子供の習い事の種類の数が少なく選択の余地がありません。現在の水泳教室の指導者も高齢ですが後任がいないと聞きました。以前はバトミントン教室も習い事としてあったと聞きましたが、今はありません。学習、スポーツ両方の習い事が充実してほしいです

虻田中学校の老朽化が著しいです。災害時の不安があります。色々とクリアしなければならない問題があると思いますが、建て替えを希望します

団体の育成⇒特に青年（指導者を含む）の指導教育を

施設の充実より、現状の管理清掃、修理をお願いしたい

礼儀正しくあいさつできる子ども。自分の意見をしっかり言える人。学業の充実及び成績アップ

照明設備のある町民グラウンドを作ってもらいたい

子どもを育てやすい町にしてほしいです。医療費は無料になりましたが、保育料学童も無料にしてほしい

子どもを沢山産める町にしてほしい

子ども達の未来が輝くものにするために、官民あげて取り組みたいものです。当町は学力が全国的にみて、下位に位置するので何とか平均までには上げていかなければならないと思います

教育委員会は、保育所・小学校・中学校、まずは現場を見てほしい

学校や保育所の設備にエアコンをつけてみてはいかがか。温暖化がすごく 30℃を超える毎日。扇風機では熱中症やその他病気になってしまいます。その辺の環境を考えてほしい

将来この町に住みたいと思われるよう今から老人だけではなく子ども達への支援や環境づくりが大事

教育についてのアンケートは答えるのが難しい。保護者の意識のヒアリングは地域によって違うので、学校や地域ごとに行えばいいと思う。一保護者に「洞爺湖町の教育」という大きな問題についての意見はあまり堪えられませんでした。教育を考えたいなら現場の教員が一番よくわかっていらっしゃるのではないのでしょうか。このアンケートにかかわる費用と労力が無駄に思えます

小さい子供はのびのび遊ぶことが大事だと思う。そういう時間をたくさん作れたらいいと思う

キャンプ場をもっと増やす。町民は無料か割引をする

Q5～Q17までは、どの設問もすべて重要なことだし、基本的なことだと思う。主なもの3つまでじゃなく、全部必要である。今回のアンケートはビジョン策定のものであるが、ビジョン策定に留まらず、ぜひ実現してほしい。また、実現するためにはどうしたらよいか、地域と行政が一体となって取り組んでほしい。アンケートをとるだけで終わりにならないことを願います

子育てを地域でやった方が良くと思う

危険なことをしていたり等の注意

家庭のモラル→一般常識の喚起を促す。若い世代ほど公共のマナーがなっていないと思う

学校や町は子どもたちの事を考え、いろいろ企画して下さって本当にありがたいです。各家庭がもっと積極的に参加したら良いなと思います。子供たちが放課後や休日に室内で遊べる場所があればありがたいです。自宅に呼んで遊ばせるのは疲れますし、かといって友達の家にはばかり行くのも気が引けます

もともと2つの文化の違う町が合併して現在の洞爺湖町になっています。だからといって全てを一本化し、1つの文化の町にしてしまうことは、それぞれの良いことをなくしてしまうことになるのではないかと危惧しています。現状、そして近い将来の人口減少は否めないですが、単なるコストや人数の問題だけで、学校や施設、事業の統合を検討せず、それぞれの地域の良い部分を生かし、より良い教育ができるように検討してください。よろしくお願いいたします

虻高のレベルが（今ならだれでも入れる?）。生徒が少ないのが分かるが

洞爺湖町は教育委員会の方々が学校教育、社会教育に一生懸命で頭が下がります。大変でしょうがよろしくお願いいたします

学びに応じたクラス分けをしてほしい

塾が近くにないようなので、代替えになるようなことを有料でも構わないのであればと安心して暮らせる

知人の子たちを見ていると、都会との学習への意識の差を感じるので、今は不安。環境が大切だと思うので、一緒に向上し合えるような、せめて同程度の学力の子がいるクラスがいいなと

携帯の学校への持ち込みをなぜ許可しないのか？ 現在の社会状況を考えると時代遅れでは？ 単に管理が面倒だからでしょうか？ 何か事件が起きない限り変わらないのか

学力、記憶・暗記することではなく、体・五感を使って体験し、その体験により自ずと心が動き、意欲が育まれるような教育。一人ひとりの人間がそれぞれ違い、素晴らしい。一人ひとりが必要とする働きかけも違うはず。個を尊重する教育、平和教育、そのようなことを自らの思想として愛深く生きる大人として子供の前に先生方は立ってほしいです

乳幼児→ファミリーサポート制度ができることを望んでいます（チケット制など）。家庭と地域がつながる良い機会ではないでしょうか

小学校→複式になるとのことで、学習の遅れに対する不安があります

中学校→その後の高校が遠く、洞爺の中学校に通わせるか、そうではなく都会に出るか。その選択をいずれするだろうと考えています。推薦の状況が整っていれば、安心して通えるかもしれません

夏休み中にアンケートは送らないでほしいです

入江に公園がないので作ってほしい。雨の日であそべる室内公園みたいなところがあればいいですね

子供達が学ぶことに意欲を持てるような関わりや、システム

もっと住みやすい町づくりや町民の為になるイベントを考え直した方がいいのでは

上記質問に対する答えではありませんが、問5「～洞爺湖町の子どもたちには～」とありますが、我が子や住んでいる地区のことはわかるが、他地域のことはわからないことが多く答えられないと思います。問6も同様です。また問2・6は、利用したことがない場合の選択肢を作るか、ない場合は○を付けなくても良い等の文章を足してほしいです。アンケートをとるなら解りやすい文章でお願いしたいです

学校での子供たちのトラブルが家庭ではわかりません。先生たちの交流も少ないのではないのでしょうか。担任の先生の独特な価値観が子どもを苦しめているように感じます。第3者が必要なのか、今一度監査することが必要だと思います。かたよった教育が、食育や生活態度等の教育のかたよりが強いと感じます

特別支援教育に対して、教師のスキルアップを望みます

教育委員会の皆様の情報開示（個人の情報）とレベルアップを望みます

洞爺地区の生徒数を考えると、洞爺地区は早期に小中一貫教育に移行するのが適当だと思います

洞爺湖町の他町との交流に関して、以前は箱根町のみであったが、洞爺村と合同で香川県との交流もするようになったのは素晴らしいと思う。参加者については小6に限定せず、多くのこどもが参加できるようになったらよいと思う（自己負担の問題はあるが）。

学童保育の早朝の時間延長を希望する。現在の8時開所では町外へ働きに行っている人の利用が困難であるため、子供のいる人の職場の限定、就業時間の短縮、や雇用形態の限定（正職員になれないなど）につながり、地域経済の不活化につながる恐れがある。学童保育の内容に関しても、子供の楽しみや遊びに乏しく、ただ集団で親のおむかえまでの時間をつぶしているだけのように感じる。イベントを増やし、学童保育でない子も自由に入出入りして遊び場として開放するなど柔軟な対応を求む

一部の親の意見で先生方がどんどん変わってしまうことがとても残念でなりません。本当はとても子供たちのことを考えてくれているのに、何にもわからないで理不尽なことをいまくる親をどうにかしないと、本当に良い教育はできないと思います

町の教育予算の増額・人的資源の増大。普段着感覚で参加可能な事業の組み立て等。時代の要望・要請（語学・IT技術・個々の教養向上等）

移住者（特に子育て中の家族）の受入。5年、10年、20年先の人口減少、学校の存続を見据え受け入れないと洞爺湖町自体の存続が危ないのではないのでしょうか。公営住宅を修繕し年2回くらいは募集をかけてほしいです

幼児や学童を対象、または高齢者も含め対象として、読書活動、特に読み聞かせ、紙芝居を定期的に行うのはどうでしょうか？教育の一環として聞くものは楽しいですし、読み手（演者）もボランティアとして色々な方が交替してやっていく。演者側にも演じるという達成感、聞く側も子供は集中して物語に入り込み、読解力、表現力もつくでしょう。高齢者なら認知症の予防、脳への活発な刺激となるでしょう。本や紙芝居があれば、だれでも演者となり行えるのが良い点であり、そんな活動が少しずつ広がれば図書館を利用する町民も増えたりするはずです。昭和初期、紙芝居流行ったそうですね。今は情報があふれる世の中、紙芝居を演じる声に集中して、楽しいひと時を味わう時間が可能となれば幸いです

過去の教育長などが取り組んできた内容と成果がわからない。私の子供達は義務教育は終えたが、小・中学の時に塾へ経済的に通わせることができなかった。もう少し町主導で放課後

教育や学習に力を入れてほしかった。そして何よりも子供たちが気兼ねなくいける教室等を作ってあげてほしい。そのための人材にかかる費用はきちんと予算に取り入れるべきだと思う

教員の移動を平等に。20年近くいる教員はどうか。行先のない教員

孫も大きくなり、高齢者なので、あまり学校関係のことはわかりませんでした

小・中学校で国歌を教えてほしい。全国大会や国際大会で本州や外国の人が当たり前のように歌っているのに歌えなく恥ずかしい思いをした。なにか北海道や一部の地域で教育的なイジメではないかと感じる

率直な疑問としてこのようなアンケートをとっていますが、フィードバックもなくどういうふうに生かされているか全くもって知らされずというか、生かされている感覚がなく洞爺湖町に対する不信感はとても強いものをもっています。高齢者への対策大切かと思います。ですが、高齢者を支えている世代、そしてこれから支えていく世代をないがしろにしていることを、行政、町長をはじめとして、全くお会いしても感じるものがありません。豊浦、壮瞥、近隣の町に比べても、役場の怠慢は町民皆感じています。優先順位をきちんと考えていますか？自分たちの給料がとても高いことをわかっていますか？それだけの仕事してますか？まずは身の丈に合った身近な人をみた政策を実施してほしい。この土地が大好きな人間として魅力的な町づくり、人づくりを本当に目指してほしい。このままではどうなんでしょうか？学校の統廃合は絶対反対。洞爺地区を殺す気ですか？人が増えるのは今洞爺地区が大切だと思います。洞爺湖町が何をしたいか、どういう地域づくりをしたいか、まったくわかりません。わかりづらいです。人がいなくなってからだと遅いですよ。危機感をもって若い人や子育てしている男女問わず意見を聞くことが大切です。私たちの税金ですよ。給料分働け

小・中基礎学力の向上

近隣と比較して、スポーツに関する助成があまりにも少ない。子供を育成する上で、スポーツを通じて心身ともに成長させるために、最低でも近隣と同等な助成は不可欠だと考える

町の教育に関して、学校では忙しい中、大変先生方は努力しているように思えます。しかし、町役場の体質なのではないでしょうか、教育委員会等変わっていこうとする志が伝わりません。働いている方が（役場の方）町はダメだとおっしゃってるのを聞くことがあります。残念です

学校内でくり返し「いじめられた」と訴える子がいると聞いています。担任と本人同士で話し合いをしているそうですが、改善難しく…。保護者（加害者側）がその事実を知らない場合もあるので、もっと家庭と連携していくべきだと思う。（自分の子供の現状、事実を知るべき）

学童保育の内容を充実させてほしい。6年生まで預けられるようになったが、今の内容じゃせいぜい低学年まで。早い子は1年生から学童拒否して放置状態。公園でお菓子食べ散らかすは、危険な自転車の乗り方でそこら中走っているは、物の盗った盗られたがあるはで、色々心配です。子供が行きたがらない学童ってどうなんですか？

空き家バンクがもっと充実してほしい。今後も色々な取り組み楽しみにしています

Ⅲ 教職員アンケート調査結果の概要

1 回答者の属性について

問1 この調査票に回答いただく方の性別、年齢を教えてください。[該当に○]

性別については、「男性」の割合が55.7%、「女性」の割合が42.9%となっています。また、年齢については、「40歳代」の割合が41.4%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が27.1%、「30歳代」の割合が15.7%などとなっています。

(単位：%)

	区 分	割 合
性 別	男 性	55.7%
	女 性	42.9%
年 齢	30歳未満	12.9%
	30歳代	15.7%
	40歳代	41.4%
	50歳代	27.1%
	60歳代	2.9%

問2 あなたの勤務先はどちらですか。[1つに○]

(単位：人)

1. 小学校	40
2. 中学校	30

問3 あなたの経験年数を教えてください。[1つに○]

経験年数については、「20～29年」の割合が41.4%と最も高く、次いで「30年以上」の割合が18.6%、「5～9年」の割合が15.7%となっています。

(単位：%)

1. 4年以下	8.6
2. 5～9年	15.7
3. 10～19年	14.3
4. 20～29年	41.4
5. 30年以上	18.6

問4 あなたが勤務している地域はどこですか。[1つに○]

(単位：%)

1. 虻田地区	67.1
---------	------

2. 洞爺地区	32.9
---------	------

2 職場環境について

問5 あなたはご自身の職場について忙しいと感じていますか。[1つに○]

自身の職務について忙しいと感じている割合については、「感じている」と「どちらかというと感じている」をあわせた“忙しいと感じている”の割合が85.7%、「どちらかというと感じていない」と「感じていない」をあわせ“忙しいと感じていない”の割合が12.9%となっています。

(単位：%)

1. 感じている	50.0
2. どちらかというと感じている	35.7
3. どちらかというと感じていない	12.9
4. 感じていない	0.0

問6 仕事をするうえで、あなたが①時間をかけている業務、②負担感を感じている業務は、どのような業務ですか。[それぞれ主なもの3つまで○]

①時間をかけている業務

時間をかけている業務内容については、「授業の準備」の割合が61.4%と最も高く、次いで「校務分掌」の割合が40.0%、「学級経営・学年経営」の割合が34.3%となっています。

(単位：%)

1. 授業の準備	61.4	9. 保護者・PTA 対応	10.0
2. 各種行事	22.9	10. 地域・行政・関係団体対応	8.6
3. 学級経営・学年経営	34.3	11. 授業以外での学習指導	2.9
4. 校務分掌	40.0	12. 生徒指導	11.4
5. 会議、打合せ	15.7	13. 部活動指導	15.7
6. 事務処理	27.1	14. 登下校指導	1.4
7. 調査・報告書作成	15.7	15. その他	1.4
8. 研究・研修	12.9		

(その他記載)

・会計 ・職員間の連絡調整

②負担感を感じている業務

負担感を感じている業務内容については、「調査・報告書作成」の割合が37.1%と最も高く、次いで「事務処理」の割合が35.7%、「会議、打合せ」の割合が25.7%となって

います。

(単位：％)

1. 授業の準備	8.6	9. 保護者・PTA 対応	14.3
2. 各種行事	11.4	10. 地域・行政・関係団体対 応	7.1
3. 学級経営・学年経営	7.1	11. 授業以外での学習指導	2.9
4. 校務分掌	15.7	12. 生徒指導	12.9
5. 会議、打合せ	25.7	13. 部活動指導	15.7
6. 事務処理	35.7	14. 登下校指導	0.0
7. 調査・報告書作成	37.1	15. その他	2.9
8. 研究・研修	8.6		

問7 多忙を解消するために必要なことは何だと思いますか。[主なもの3つまで○]

多忙を解消するために必要なことについては、「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「会議や研究会の効率化・スリム化を図る」の割合が 42.9%、「校務分掌の見直しなど、校務の効率化を図る」の割合が 34.3%となっています。

(単位：％)

1. 教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事量を減らす	28.6
2. 調査や事務関係の書類の提出を少なくする	61.4
3. 会議や研究会の効率化・スリム化を図る	42.9
4. 少人数学級を実現する	24.3
5. 定時退庁日、ノー部活デー、ノー会議デーを徹底する	12.9
6. 校務分掌の見直しなど、校務の効率化を図る	34.3
7. 年次有給休暇等計画的な取得を推進する	7.1
8. ICT※機器の積極的な活用を図る	10.0
9. 家庭や地域との連携・協働を図る	4.3
10. 外部人材を活用する	15.7
11. その他	14.3

※ICT：Information and Communication Technology の略で、情報通信技術のこと。

(その他記載)

- ・複式学級の解消
- ・人を増やす
- ・行事の精選
- ・各自が責任を持って仕事を行う
- ・教職員を増加する。無免許で教科指導はよいのか?
- ・人員不足の解消
- ・部活動のあり方を見直す。地域又は外部人材活用など
- ・部活動についての見直し

- ・思い当たらない

3 教育や学習に関する取組について

問8 教育を通じて洞爺湖町の子どもたちには、次のような能力や態度が実際に身に付いていると思いますか。〔①～⑫の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけ〇〕

洞爺湖町の子どもたちに身につけている能力や態度について、「身につけている」と「だいたい身につけている」をあわせた“身につけている”割合が、⑥いじめ・暴力行為を許さない心 72.9%と最も高く、⑩地域の人や行事に積極的に関わろうとする姿勢 71.5%となっています。

(単位：%)

項 目	1 身 に つ い て い る	2 だ て い い た る い 身 に つ い	3 あ い ま な り い 身 に つ い て	4 身 に つ い て い な い	5 わ か ら な い
①自ら学び、考え、主体的に行動する力	0.0	32.9	48.6	17.1	0.0
②表現やコミュニケーション力	0.0	32.9	54.3	11.4	0.0
③教科の基礎的な学力	0.0	37.1	40.0	20.0	1.4
④思いやりの心や善悪の判断などの道徳心	7.1	57.1	27.1	5.7	1.4
⑤社会生活に必要な常識やマナー	7.1	38.6	42.9	10.0	0.0
⑥いじめ・暴力行為を許さない心	14.3	58.6	18.6	4.3	0.0
⑦生き方や進路について考える力	0.0	24.3	55.7	12.9	4.3
⑧偏見や差別を許さず、互いに認め合い、共に生きる姿勢	4.3	40.0	45.7	5.7	1.4
⑨“ふるさと洞爺湖町”を誇りに思う心、愛する心	8.6	54.3	21.4	5.7	7.1
⑩地域の人や行事に積極的に関わろうとする姿勢	22.9	48.6	17.1	5.7	2.9
⑪体力を向上させ、健康的に生きようとする姿勢	11.4	62.9	17.1	4.3	2.9
⑫緊急事態において、子どもが自ら守り安全を確保することができる力	2.9	60.0	31.4	2.9	1.4

問9 あなたが子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。[主なもの3つまで○]

洞爺湖町の子どもたちや教育についての課題については、「子どもたちの学力」の割合が62.9%と最も高く、次いで「家庭でのしつけ・教育」の割合が44.3%、「子どもたちの基本的な生活習慣」の割合が31.4%となっています。

(単位：%)

1. 子どもたちの学力	62.9	8. 家庭でのしつけ・教育	44.3
2. 子どもたちの健康や体力	11.4	9. 地域での子育て・教育	5.7
3. 子どもたちの基本的な生活習慣	31.4	10. 学校・家庭・地域の連携	14.3
4. 子どもたちの道徳心や規範意識	27.1	11. 幼・保・小・中学校間の連携	5.7
5. 子どもたちの問題行動やいじめ・不登校	18.6	12. 学校及び保育所の小規模化	2.9
6. 学校の施設や設備	20.0	13. その他	4.3
7. 教職員の指導力	14.3	14. 特にない	0.0
		15. わからない	1.4

(その他記載)

- ・自主性（自ら考えて行動する力）
- ・グローバルな視点、外に目を向ける意識

問10 洞爺湖町の学校教育において、次のような取組について、できていると思いますか。

[①～⑯の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけ○]

洞爺湖町の学校教育の取組でできていることについては、「できている」と「だいたいでできている」をあわせた“できている”の割合が、⑯学校の教育活動や取組内容を保護者や地域に発信している90.0%と最も高く、次いで①わかりやすい授業を行っている87.1%、⑩有珠山の特性や津波、地震災害など、地域の状況に応じた防災教育を行っている82.9%となっています。

(単位：%)

取 組 内 容	1 で き て い る	2 だ て い い た る い で き	3 あ い ま な り い で き て	4 で き て い な い	5 わ か ら な い
①わかりやすい授業を行っている	10.0	77.1	10.0	0.0	1.4
②少人数指導、習熟度別指導など、多様な形態での学習を工夫している	21.4	57.1	15.7	1.4	2.9

③コンピュータや実物投影機などの ICT※機器を活用している	8.6	44.3	37.1	8.6	0.0
④規範意識や道徳性を育む教育を行っている	10.0	68.6	20.0	0.0	0.0
⑤命と人権を大切にする教育を行っている	14.3	61.4	20.0	1.4	1.4
⑥「いじめ」「暴力行為」をなくす取組を行っている	24.3	52.9	21.4	0.0	0.0
⑦不登校児童生徒へのケアや支援を行っている	18.6	60.0	14.3	1.4	4.3
⑧体力向上を目指した取組を行っている	17.1	50.0	30.0	0.0	1.4
⑨学校給食を活用した食育を行っている	34.3	31.4	28.6	4.3	0.0
⑩子どもの障がいの状態や教育的ニーズに応じた指導を行っている	24.3	55.7	18.6	0.0	0.0
⑪有珠山の特性や津波、地震災害など、地域の状況に応じた防災教育を行っている	34.3	48.6	14.3	1.4	0.0
⑫交通事故や犯罪等から身を守る交通安全教育や防犯教育を行っている	20.0	60.0	18.6	0.0	0.0
⑬保育所や幼稚園とのつながりを深める取組を行っている	12.9	37.1	28.6	10.0	10.0
⑭高校とのつながりを深める取組を行っている	2.9	14.3	37.1	21.4	18.6
⑮学校図書室を活用した教育活動を行っている	2.9	35.7	45.7	11.4	2.9
⑯学ぶ意欲を高め、学習習慣を定着させるための取組を行っている	14.3	65.7	17.1	1.4	0.0
⑰学校の教育活動や取組内容を保護者や地域に発信している	25.7	64.3	8.6	0.0	0.0
⑱地域の指導者等（地域人材）を活用した授業を行っている	17.1	55.7	21.4	4.3	0.0
⑲地域の豊富な学習資源（自然、文化財、芸術文化など）を活用している	22.9	50.0	21.4	2.9	1.4

問 1 1 少子化に伴い、保育所や小中学校の子ども数が減少してきており、今後においても同様に減少が見込まれ、保育所や小中学校の小規模化が予想されます。保育所や小中学校の小規模化について、あなたはどのように思いますか。〔1つに○〕

保育所や小中学校の小規模化については、「メリットが多いと思う」と「どちらかといえばメリットが多いと思う」をあわせた“メリットが多いと思う”の割合は45.7%、「どちらかといえばデメリットが多いと思う」と「デメリットが多いと思う」をあわせた“デメリットが多いと思う”の割合は37.2%となっています。

(単位：％)

1. メリットが多いと思う	7.1
2. どちらかといえばメリットが多いと思う	38.6
3. どちらかといえばデメリットが多いと思う	34.3
4. デメリットが多いと思う	2.9
5. わからない	17.1

問11-1については、問11で「1. メリットが多いと思う」「2. どちらかといえばメリットが多いと思う」を回答した方のみお答えください。

問11-1 その理由は何ですか。[主なもの3つまで○]

保育所や小中学校の小規模化のメリットが多いと思う理由については、「先生の目が届きやすく、きめ細やかな指導（個別指導）がしやすい」の割合が100.0%と最も多く、次いで「個々の活動の場が増え、責任感が育つ」の割合が40.6%、「異学年の子どもとの関わりが密になる」の割合が34.4%となっています。

(単位：％)

1. 同学年の子ども同士がよく知り合うことができ、人間関係が密になる	25.0
2. 異学年の子どもとの関わりが密になる	34.4
3. 運動会などの学校行事において、子ども一人一人の活躍の場が作りやすい	25.0
4. 先生の目が届きやすく、きめ細やかな指導（個別指導）がしやすい	100.0
5. 全員で団結や協力がしやすくなる	12.5
6. 個々の活動の場が増え、責任感が育つ	40.6
7. ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気の中で学ぶことができる	31.3
8. その他	3.1
9. 特にない	0.0
10. わからない	0.0

(その他記載)

- ・地域や保護者の方々が一人一人を把握し、地域みんなで子どもを育てる体制を作りやすい

問11-2については、問11で「3. どちらかといえばデメリットが多いと思う」「4. デメリットが多いと思う」を回答した方のみお答えください。

問11-2 その理由は何ですか。[主なもの3つまで○]

保育所や小中学校の小規模化のデメリットが多いと思う理由については、「集団活動・行事に支障がでる」の69.2%が最も多く、次いで「子どもが多様な個性と触れ合う機会が少なくなる」の割合が57.7%、「切磋琢磨する機会が少なくなる」と「多様な考えに触れる機会が少なくなる」の割合が38.5%となっています。

(単位：％)

1. 切磋琢磨する機会が少なくなる	38.5
2. 子どもが多様な個性と触れ合う機会が少なくなる	57.7
3. 集団活動・行事に支障がでる	69.2
4. 多様な考えに触れる機会が少なくなる	38.5
5. コミュニケーション能力が育ちにくくなる	30.8
6. 部活動などの数や部員が少なくなり、運営に支障がでる	34.6
7. PTA 活動等において、保護者への負担が大きくなる	15.4
8. その他	7.7
9. 特にない	0.0
10. わからない	0.0

(その他記載)

- ・免外の指導が増える（子どもが専門外の先生から指導を受ける場面が増える）
- ・子どもが集団での行動、活動に対応できなくなる可能性がある

問12 次の教育施策や教育事業について、あなたは、今後、洞爺湖町で力を入れて行う必要があると思いますか。[①～⑩の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけ○]

今後、洞爺湖町で力を入れて行う必要がある教育施策や教育事業について、「特に充実をしていくべき」と「充実をしていく方がよい」をあわせた“充実していくべき”の割合が、⑩教職員の専門性や指導力の向上78.6%と最も高く、次いで⑨校舎や遊具等の施設面での環境整備77.1%、⑦インターネットを適切に活用する能力等を育てる情報モラル教育75.7%となっています。

(単位：％)

項 目	1 特に 充実 してい くべ き	2 充 分 な 実 績 が あ る か ら い い	3 現 状 で よ い	4 あ ま り い な い か ら い い か ら い い	5 充 分 な 実 績 が あ る か ら い い
①発達や学びの連続性を踏まえた幼児保育・教育	14.3	48.6	35.7	0.0	0.0
②少人数指導、習熟度別学習など、多様な形態での学習	15.7	45.7	35.7	2.9	0.0
③生き方を考え、夢に挑戦する子どもを育むキャリア教育	21.4	51.4	22.9	2.9	0.0
④英語（外国語）教育	10.0	34.3	51.4	2.9	0.0
⑤読書活動の取組	11.4	35.7	50.0	1.4	0.0

⑥コンピュータなどの ICT 機器を活用した授業	15.7	50.0	30.0	2.9	0.0
⑦インターネットを適切に活用する能力等を育てる情報モラル教育	17.1	58.6	21.4	1.4	0.0
⑧豊かな心を育む道德教育	27.1	41.4	27.1	1.4	0.0
⑨偏見や差別を許さず、互いの人権を尊重しあう態度を育て得る人権教育	28.6	37.1	34.3	0.0	0.0
⑩“ふるさと洞爺湖町”を誇りに思う心、愛する心の育成	21.4	40.0	35.7	1.4	0.0
⑪子どもの体力向上の取組	14.3	44.3	40.0	0.0	0.0
⑫学校給食（食育を含む）	10.0	35.7	52.9	0.0	0.0
⑬障がいに関わらず子どもたちが共に学ぶことができる仕組みづくり	14.3	45.7	38.6	0.0	0.0
⑭不登校児童生徒へのケアや支援	27.1	47.1	24.3	0.0	0.0
⑮いじめや暴力行為などの解消を図る取組	17.1	35.7	45.7	0.0	0.0
⑯学校や保育所の活動や取組内容についての情報発信	8.6	32.9	55.7	1.4	0.0
⑰教職員の専門性や指導力の向上	22.9	55.7	18.6	1.4	0.0
⑱校舎や遊具等の施設面での環境整備	35.7	41.4	17.1	2.9	1.4
⑲子どもの通学路の安全確保に係る取組	10.0	44.3	41.4	2.9	0.0
⑳有珠山の特性や津波、地震災害など、地域の状況にあった防災教育	20.0	42.9	35.7	0.0	0.0
㉑交通事故や犯罪等から身を守る交通安全教育や防犯教育	5.7	48.6	42.9	1.4	0.0
㉒学校や保育所の適正規模や適正配置（※1）についての検討	20.0	38.6	38.6	0.0	1.4
㉓義務教育9年間を見通した小中一貫教育（※2）の検討	17.1	45.7	31.4	2.9	1.4
㉔放課後や土曜日などを活用した教育活動	5.7	15.7	58.6	11.4	7.1
㉕保育所と小学校との連携	10.0	40.0	41.4	4.3	2.9
㉖小学校と中学校との連携	18.6	48.6	27.1	4.3	2.9
㉗学校・家庭・地域が連携してしくための取組	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0
㉘家庭・地域の教育力向上を図るための講座等の開催	17.1	42.9	38.6	1.4	0.0
㉙地域の指導者等（地域人材）を活用した授業	17.1	40.0	41.4	0.0	0.0
㉚地域の豊富な学習資源（自然、文化財、芸術文化など）の活用	15.7	32.9	50.0	0.0	0.0

※1 適正規模や適正配置：少子化が進む中、学校や保育所において、どの程度の規模や人

数で教育や保育を行うことが望ましいのかを考えていくこと。

- ※2 小中一貫教育：小学校と中学校の義務教育9年間を連続した期間にとらえ、児童生徒の発達段階に応じた一貫性のある学習指導・生活指導を行うとともに、小学校と中学校が協働して、系統的・継続的に教育活動を展開することについて考えていくこと。

4 社会教育について

ここからは、洞爺湖町の社会教育に関する質問です。

質問のなかで「学習」・「学ぶ」などとありますが、ここで言う学習や学ぶとは、「趣味を生かしたり、教養を高めたりする等」のこととご理解をいただいて、回答ください。

- 問13 あなたは自由時間（余暇）をどのように過ごしていますか。〔主なもの5つまで○〕
自由時間（余暇）の過ごし方については、「家族との団らん」の割合が51.4%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」の割合が48.6%、「買い物」の割合が47.1%となっています。

(単位：%)

1. テレビ・ラジオ	48.6	10. 買い物	47.1
2. 新聞・雑誌を読む	14.3	11. グループ・サークル活動	8.6
3. 家族との団らん	51.4	12. 地域活動	7.1
4. 趣味・娯楽・習い事	42.9	13. ボランティア活動	2.9
5. スポーツ・体力づくり	22.9	14. 友人・知人・近所との交際	14.3
6. 読書・教養のための学習	21.4	15. 休養	44.3
7. 仕事や職業についての学習	7.1	16. 身の回りの整理	21.4
8. 資格・技術の取得	4.3	17. 仕事	32.9
9. 旅行・ドライブ	30.0	18. その他	4.3

(その他記載)

・介護 ・家事 ・部活動

- 問14 現在あなたは、「学習活動」を行って（参加して）いますか。〔1つに○〕

学習活動については、「行っていない」の割合が58.6%、「行っている」の割合が41.4%となっています。

(単位：%)

1. 行っている	41.4
2. 行っていない	58.6

問14-1については、問14で「1. 行っている」を回答した方のみお答えください。

- 問14-1 どのような方法で行っていますか。〔主なもの2つまで○〕

学習活動の方法については、「グループ・サークル活動を行っている」の割合が21.4%

と最も高く、次いで「その他」の割合が 11.4%、「テレビ・ラジオを利用している」の割合が 10.0%となっています。

(単位：%)

1. テレビ・ラジオを利用している	10.0
2. 通信教育を受けている	2.9
3. 図書室を利用している	5.7
4. グループ・サークル活動を行っている	21.4
5. 教育委員会主催の講座・教室に参加	2.9
6. 施設を利用して個人的に学んでいる	0.0
7. その他	11.4

(その他記載)

- ・自分で行っている
- ・本やCDを活用し、自分で。インターネットも
- ・日々学習だと思っています。
- ・本や新聞を読んで勉強
- ・火山マイスターの活動についての勉強・意見
- ・インターネットを利用している

問 1 4－2 については、問 1 4 で「2. 行っていない」を回答した方のみお答えください

問 1 4－2 行っていない理由を教えてください。[主なもの 2 つまで○]

学習活動を行っていない理由については、「時間がない（仕事が忙しい）から」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「希望する教室・講座がないから」の割合が 10.0%、「必要がないから」が 7.1%となっています。

(単位：%)

1. 方法が分からないから	0.0	5. 何もしたくないから	4.3
2. 仲間がいないから	0.0	6. 必要がないから	7.1
3. 時間がない（仕事が忙しい）から	44.3	7. 希望する教室・講座がないから	10.0
4. 身近に学ぶ場所がないから	2.9	8. その他	2.9

(その他記載)

- ・いろいろやることがあるので

問 1 5 あなたが学びたい、または、興味がある学習分野を教えてください。[主なもの 3 つまで○]

学びたい、あるいは興味がある学習分野については、「健康・スポーツ・レクリエーション・レジャー的趣味に関する学習」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「文化・芸術的趣味（園芸・舞踊・茶道・華道・盆栽・音楽・美術など）に関する学習」の割合が 47.1%、

高く、次いで「ミュージカル」の割合が 48.6%、「クラシック音楽」の割合が 31.4%となっています。

(単位：%)

1. クラシック音楽	31.4	7. 歌舞伎	20.0
2. 音楽（ジャンルは）	8.6	8. 人形劇	12.9
3. 演劇	58.6	9. 民謡	2.9
4. ミュージカル	48.6	10. 特になし	4.3
5. 落語	21.4	11. その他	4.3
6. 漫才	21.4		

2の音楽（ジャンル）

・何でも

（その他記載）

・絵画、書画 ・映画 ・クラシックコンサート

問18 あなたがこれからやってみたいスポーツを教えてください。[主なもの3つまで○]

これからやってみたいスポーツについては、「カヌー」と「ヨガ」の割合が 22.9%と最も高く、次いで「ウォーキング」の割合が 21.4%、「パークゴルフ」と「水泳」の割合が 12.9%となっています。

(単位：%)

1. 野球	5.7	13. スキー	17.1
2. バレーボール	10.0	14. スノーボード	2.9
3. ミニバレーボール	10.0	15. 歩くスキー	2.9
4. ゲートボール	1.4	16. サッカー	7.1
5. パークゴルフ	12.9	17. テニス	7.1
6. バドミントン	7.1	18. カヌー	22.9
7. 剣道	4.3	19. フロアーカーリング	2.9
8. 柔道	1.4	20. 太極拳	5.7
9. 卓球	11.4	21. ヨガ	22.9
10. 水泳	12.9	22. フットサル	7.1
11. ランニング	11.4	23. その他	7.1
12. ウォーキング	21.4		

（その他記載）

・登山（3件） ・キンボール ・トレッキング

問19 あなた（ご家族を含む。）は社会教育事業に参加したことがありますか。[1つに○]

社会教育事業に参加については、「ない」の割合が 62.9%、「ある」の割合が 37.1%となっています。

(単位：%)

1. ある	37.1
2. ない	62.9

問19-1については、問19で「1. ある」を回答した方のみお答えください。

問19-1 あなた（ご家族を含む。）が参加された社会教育事業は何ですか。参加したことがあるものに参加した回数をご記入ください。また、参加された感想をお聞きます。[感想は、①～㉔の各事業に参加したことがある場合、あてはまるものに、それぞれひとつだけ○]

社会教育事業に参加した回数と感想については、「大変満足」と「満足」をあわせた“満足”の割合が、⑦地域未来塾事業10件と最も多く、次いで⑨洞爺湖町成人式5件、㉔とうや湖縄文まつり4件となっています。

(単位：件)

事業名	1 大 変 満 足	2 満 足	3 ふ つ う	4 不 満	5 大 変 不 満
乳幼児事業					
①子育てセミナー	1	2	0	0	0
②ブックスタート事業	1	0	0	0	0
③読み聞かせ会	0	1	0	0	0
④図書室子どもまつり	0	0	0	0	0
青少年事業					
⑤洞爺湖町少年の主張大会	0	3	3	0	0
⑥とうや湖 GENKIDS	3	1	2	0	0
⑦地域未来塾事業	4	6	1	0	0
⑧読書感想画、読書感想文募集事業	0	1	0	0	0
成人事業					
⑨洞爺湖町成人式	2	3	0	0	0
⑩きずな学級講演会	0	0	0	0	0
高齢者事業					
⑪いきいき学園	0	0	0	0	0
スポーツ事業					
⑫レークスポーツ	1	2	0	0	0
⑬初心者水泳教室	3	0	0	0	0

⑭ちびっ子水泳教室	2	0	0	0	0
⑯歩くスキー体験会	0	0	0	0	0
⑰町民歩くスキーの集い	0	0	0	0	0
⑱出前スポーツ教室	0	0	0	0	0
芸術文化事業					
⑲野外彫刻清掃ボランティア	1	2	1	0	0
⑳美術見学会	1	0	0	0	0
㉑芸術鑑賞事業	2	1	0	0	0
文化財事業					
㉒こども合同体験イベント	0	0	0	0	0
㉓とうや湖縄文まつり	1	3	0	0	0
㉔文化財ウォークラリー	0	1	0	0	0
㉕縄文ロビー講座	0	1	0	0	0
㉖文化財防火デー	0	0	0	0	0

※⑮については、⑬と項目が同じだったため、⑬に集約しています。

問19-2については、問19で「2. ない」を回答した方のみお答えください。

問19-2 あなた（ご家族を含む。）が社会教育事業に参加しない（できない）理由は何ですか。〔該当するものすべてに○〕

社会教育事業に参加しない（できない）理由については、「仕事・育児などで忙しい（時間がない）」の割合が35.7%と最も高く、次いで「内容に興味を持てないから」の割合が15.7%、「その他」の割合が12.9%となっています。

(単位：%)

1. 内容に興味を持てないから	15.7
2. 仕事・育児などで忙しい（時間がない）	35.7
3. 費用がかかる	1.4
4. 一人では参加しにくい	11.4
5. 会場までの交通手段がない	0.0
6. 参加する必要がある	4.3
7. その他	12.9

(その他記載)

- ・洞爺湖町に住んでいないため（2件）
- ・洞爺湖町民ではない（2件）
- ・住まいが伊達で、伊達の方に参加しているから
- ・異動してきたばかりでわからない
- ・自宅が遠い

・町民になってまだ日が浅いため、よく知らないものが多い

問20 あなたがこれからの社会教育事業で、実施してほしい（参加してみたい）学習分野を教えてください。〔主なもの3つまで○〕

社会教育事業で、実施してほしい（参加してみたい）学習分野については、「健康・スポーツ・レクリエーション・レジャー的趣味に関する学習」の割合が54.3%と最も高く、次いで「文化・芸術的趣味（園芸・舞踊・茶道・華道・盆栽・音楽・美術など）に関する学習」の割合が47.1%、「すぐに役に立つ技術的な内容（料理・パソコン・和洋裁など）に関する学習」の割合が28.6%となっています。

（単位：％）

1. 文化・芸術的趣味（園芸・舞踊・茶道・華道・盆栽・音楽・美術など）に関する学習	47.1
2. 健康・スポーツ・レクリエーション・レジャー的趣味に関する学習	54.3
3. 時事問題（高齢化・環境・政治・経済・国際問題など）に関する学習	2.9
4. 一般教養的内容【文学・歴史・語学など】に関する学習	12.9
5. 教育・育児・子育てに関する学習	27.1
6. すぐに役に立つ技術的な内容（料理・パソコン・和洋裁など）に関する学習	28.6
7. 職業上の知識や技能・資格取得に関する学習	21.4
8. 福祉・ボランティア活動に関する学習	10.0
9. その他	1.4

（その他記載）

・特になし

問21 あなた（ご家族を含む。）が、この1年間に利用したことのある各施設の感想をお聞かせください。

この1年間に利用したことのある各施設の感想については、「大変満足」と「満足」をあわせた“満足”の割合が、⑧入江・高砂貝塚館の18件と最も多く、次いで⑩洞爺湖文化センターの17件、③洞爺総合センターの12件となっています。

（単位：件）

施設名	1 大変満足	2 満足	3 ふつう	4 不満	5 大変不満
①虻田ふれ合いセンター	2	0	4	0	0
②母と子の館	2	2	10	0	0
③洞爺総合センター	5	7	3	0	0

④あぶた読書の家	4	1	3	1	0
⑤みずうみ読書の家	1	0	3	0	0
⑥虻田郷土資料館	4	3	2	0	0
⑦洞爺湖文化交流会館	1	0	3	0	0
⑧入江・高砂貝塚館	6	12	3	0	0
⑨洞爺湖文化センター	7	10	6	0	0
⑩洞爺湖芸術館	5	4	3	0	0
⑪あぶた体育館	1	4	10	0	0
⑫洞爺湖町民プール	3	7	6	1	0
⑬洞爺学校水泳プール	5	4	0	2	0
⑭虻田テニスコート	0	1	1	0	0
⑮洞爺テニスコート	0	3	2	0	0
⑯学校開放体育館	0	1	1	0	0
⑰その他	0	0	0	0	0

(その他(施設名)記載)

・なし

(そう感じた理由)

①虻田ふれ合いセンター

建物は古そうだが、小ざれいにしているため
吹奏楽で毎週お世話になっています

②母と子の館

せまい

部活動で

規模

うちの子たちが休みの日利用したことがあります
多様な使い方ができるから

③洞爺総合センター

会議等で便利に使わせていただいているため
広々していて使いやすい
いつもお世話になっています

④あぶた読書の家

雰囲気をもっと明るい方がよい
もっと本が多いと良い。貸出冊数が少ない

対応の幅

できる限り行きたいです

⑤みずうみ読書の家

図書の実があれば…

⑥虻田郷土資料館

しっかり整備されているから

学校行事で

うちの小学生が見学でお世話になり、大変よくしてもらいました

⑦洞爺湖文化交流会館

特になし

⑧入江・高砂貝塚館

学芸員の説明がわかりやすかった

しっかり整備されているから

学校行事で

解説

久しぶりでしたが、虻田でなければ見られない展示があったため

うちの小学生が見学でお世話になり、大変よくしてもらいました

展示が充実しているから

⑨洞爺湖文化センター

しっかり整備されているから

コンパクトだが設備が整っている

設備が整っている。駐車場が広い

良いホールだったので

子ども芸術フェスの時にお世話になっている

規模が大きくなり、ステージと一体感がある

発表等で使用させてもらっています

多くの集客が期待できる

⑩洞爺湖芸術館

雰囲気がよい。特別展が充実している

色々な企画（催し物）が多い

普段目にするものがない作品を見ることができる

洞爺中、とうや小でお世話になりました

いいものを扱っている

⑪あぶた体育館

職員の対応がていねいだった
しっかり整備されているから
部活動で
観覧場所

⑫洞爺湖町民プール

ほぼ寒くない
清潔である
学校行事で
使用上のルールが明記徹底されていない
シャワー（プールの水ではなく、水道水を…。塩素を落としたい）

⑬洞爺学校水泳プール

とてもきれいで使いやすかったです
管理人の方いつもありがとうございます
コースロープを新しくしてほしい
館内が清潔で室温もあたたかく保たれてよい。指導員の方の対応も親切でよい
清掃が行き届き、係の方の対応も良い
学校から近くて安心

⑭虻田テニスコート

なし

⑮洞爺テニスコート

手続きが簡単で担当者が良心的なので
整備されている
ボールが外に出てしまう

⑯学校開放体育館

なし

⑰その他

なし

問 2 2 次の社会教育施策や社会教育事業について、あなたは、今後、洞爺湖町で力を入れて行う必要があると思いますか。[①～⑮各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけ○]

今後、洞爺湖町で力を入れて行う必要がある社会教育施策や社会教育事業について、「特に充実をしていくべき」と「充実をしていく方がよい」をあわせた“充実していくべき”の割合が、②少年教育の推進 49 件と最も多く、次いで①乳幼児教育の推進 45 件、⑧芸術・文化鑑賞の機会の提供と充実 44 件となっています。

(単位：件)

項 目	1 特に 充実 をす べき	2 充 実 が よ い	3 現 状 で よ い	4 あ し 要 ま り い な 充 実 必 ず	5 充 分 な 充 実 が な い
①乳幼児教育の推進	10	35	22	0	0
②少年教育の推進	15	34	17	0	0
③青年・成人教育の推進	5	32	28	0	0
④高齢者教育の推進	7	25	33	0	0
⑤学校・家庭・地域との連携	13	28	25	0	0
⑥男女共同参画や女性の社会への参画	6	22	37	0	0
⑦国際交流事業の推進	8	23	31	2	0
⑧芸術・文化鑑賞の機会の提供と充実	9	35	20	0	0
⑨学習成果の場や機会の提供	5	30	31	0	0
⑩文化財の保存と活用	10	19	36	0	0
⑪生涯スポーツ・レク活動の推進	6	27	32	0	0
⑫読書活動の推進	9	26	31	0	0
⑬社会教育施設の機能充実	11	26	29	0	0
⑭スポーツ施設の機能充実	14	29	23	0	0
⑮指導者及び団体の育成・支援	11	29	25	0	0

問 2 3 洞爺湖町の教育に関して、望まれることや具体的なお提案、ご意見がございましたら、ご記入ください。

基礎的な学力（読み・書き・計算）も大事なのだろうが、本当に生きて働く力をつけさせたい

「危ない」ことから遠ざけず、ある意味野性的なことも必要と思う。頭の中だけで終始するのでは不十分で、五感を磨かせたい

読書の家はできたが、適応指導教室の設置を望む

現場の声を聞き、現場の多忙さを理解してほしい

事業のスリム化（厳選していただきたい）。1つをしっかりとできなくなってしまう

生徒に指導するために（生徒を動かすために）想像以上に多くの準備する時間を費やしていることを理解していただきたい

子どもたちとしっかり向き合うための教育条件の整備（時間・行事の取組内容）

教師の主体性が発揮されるための勤務状況の改善

効果的な教育課程の整備と町の行事と学校行事とのつながり

無理や無駄、負担感を感じさせない準備や引継体制

小規模化、学校減に伴う従来の行事の厳選

子どもたちが安全に遊ぶことができる施設をもっと多くできないでしょうか。休日などに親と子どもと一緒に出掛けて行って遊べるような遊園地（遊具の充実）のような施設。子育てがしやすいと思える地域になれるといいですね

家庭教育の充実

障がいを持つ子やその家族が安心して生活できる町づくりをお願いしたい。本人や保護者が地域の方やお年寄りの方の偏見や差別で苦労することがないような地域になるとよい

インクルーシブな教育を目指して、何ができるかを一緒に考えたいと思う

教員の不祥事や学力低下を現場に問題がある傾向があるが、実際不祥事を起こしている人は、以前の職場で不祥事等をおこしており、そういう者を人事で採用することが続いており、現場がそのしわ寄せを受けているのが現状。学力低下等を問題視する前に、人事をきちんと行ってほしいです

「スタンダード10」「見守り委員会」など、時間外の会議とその回数が異常に多い（室蘭市・伊達市では勤務時間内に「外勤」扱いできちゃんと保障されている）。負担感が強い

問22-⑫読書にかかわって、読書の家の蔵書量を増やし、移動図書館を行っていただきたい

児童館の設置。放課後、子どもたちが集える場を設けていただきたい。伊達のなないろ児童館が良いモデルケースになると思います。教育的な活動やイベントがあり、安心して子供たちが過ごせる場の必要性を感じます

学校の住環境が悪い。虻田小学校の校舎内が暗い。玄関や廊下などの電灯を明るくする。教室内、廊下のくもりガラスを透明ガラスに変える。廊下壁面の壁の色を明るい色に塗り替えるなど、お金をかけて学校の住環境を明るくしてほしい。学校内に入った時の重苦しい雰囲気は虻田小の子どもたちの心を暗くしていると思います。ぜひ見に来てほしいと思います

学校図書にかかる予算が少ない。図書館だけでなく、各学級文庫を設置できるぐらい一度お金をかけるべき。一度揃えれば、数年は持ち回りで活用できるはず

③客観的に見て、かけるところにお金をかけていないような気がします。重点的にお金をかけるところを学校ごとにピックアップさせ、数年かけて環境整備をしていく必要があると思います

他地区に比べ、町としての不登校対策がとても遅れている。今年から少し前進したがまだまだである。本人だけでなく保護者対応など充実させることや、それと同時にカウンセラーや相談員の常駐を強く要望する

福祉、子育て、教育、障害者の窓口が一本化されるとよいなと思います

芸術鑑賞を町で主催していただけるとありがたいです。費用の面で学校単位でやると限界があるので…

第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン策定委員会設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、人口減少やグローバル化の進展、情報通信技術の発達など、社会情勢が急激に変化するなかで、洞爺湖町の未来を担う子ども達が心豊かにたくましく成長し、すべての町民が健やかで充実した生活を送ることができるよう、生涯学習の推進に向けこれからの洞爺湖町の教育の方向性などを示す「第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン」（以下「教育目標と教育ビジョン」という。）を策定するため、策定委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その組織運営等について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 委員会は、教育長の諮問に応じ、教育目標と教育ビジョンについて、必要な事項を審議し、答申を行うものとする。

(組織)

第3条 委員会は、委員12名以内をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) PTA 関係者
- (4) その他教育長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日から当該諮問に係る審議が終了するまでとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を各1名置き、委員の互選により選任する。

2 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会の会議は、委員の過半数の出席により成立する。

3 委員会の議決は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席等)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聞き、又は資料の提出を求めることができる。

(部会)

第8条 委員会は、必要に応じ部会を置くことができる。

2 部会に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、管理課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この訓令は、平成28年7月25日から施行する。

(招集の特例)

2 この訓令の施行の日以後最初に開かれる会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン策定委員会委員名簿

(敬称略)

区 分	団体名等	氏 名	備 考	
(1) 学校教育関係者	洞爺湖町校長会 (会長)	と 登 坂 恭 之	虻田小学校校長	委員長
	洞爺湖町教頭会 (会長)	うち 内 山 勇 一	洞爺中学校教頭	
(2) 社会教育関係者	洞爺湖町社会教育委員会 (委員)	か 加 藤 貴 之	洞爺湖町商工会 職員	
	洞爺湖町体育協会 (副会長)	ふく 福 島 良 一		
	洞爺湖町文化団体協議会 (会計長)	たい 泰 地 ひとみ		
	とうや文化協会 (理事)	しお 塩 田 直 美	(フラワービー ンズ代表)	
	ウイメンズネットワーク 洞爺湖 (代表)	あお 青 木 佐智子		
(3) PTA 関係者	洞爺湖町 PTA 連合会 (会長)	た 田 仁 孝 志		
	洞爺湖町 PTA 連合会 (副会長)	おお 大 西 拓		
(4) その他教育長が必要と認める者	公 募	おお 大 坪 洋 敬	洞爺湖町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員	
	有識者	ふく 福 井 政 吉	洞爺湖町自治会連合会会長(温泉8区自治会長)	
	有識者	もう 毛 利 納	洞爺湖町自治会連合会副会長(洞爺第3自治会長)	副委員長

部会の設置について

1 部会を設けることについて

委員会の効率的な運営を図るため、審議する内容によって必要に応じ、次に掲げる部会を設ける。

- (1) 学校教育部会
- (2) 社会教育部会

2 部会の構成員

部会の構成員は、委員長が定める。

3 部会長及び副部会長を置くことについて

- (1) 部会に部会長及び副部会長を置く。
- (2) 部会長は、委員長が指名する者をもって充てる。
- (3) 副部会長は、部会長が指名する者をもって充てる。

4 部課長及び副部会長の役割

- (1) 部会長は、部会における審議の議長となり部会を総理する。
- (2) 副部会長は、部会長に事故あるとき、又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

5 その他

その他、部会の設置及び運営に関し必要な事項は、委員長が部会長と協議のうえ定める。

部 会 の 構 成

(敬称略)

	学校教育部会	社会教育部会
部会長	登 坂 恭 之	毛 利 納
副部会長	内 山 勇 一	福 島 良 一
構成員	田 仁 孝 志	加 藤 貴 之
	大 西 拓	泰 地 ひとみ
	大 平 洋 敬	塩 田 直 美
	福 井 政 吉	青 木 佐智子